Canon

Satera

Macintosh用 CAPTプリンタドライバ
オンラインマニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

●ご確認ください

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

目次

第４章　便利な印刷機能

第 5 章　印刷品質の設定

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：［ボタン名称］

例：［OK］
　　［設定］

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、ColorSync、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご使用の前に

オンラインマニュアルの使いかたなどについて説明しています。

オンラインマニュアルの使いかた

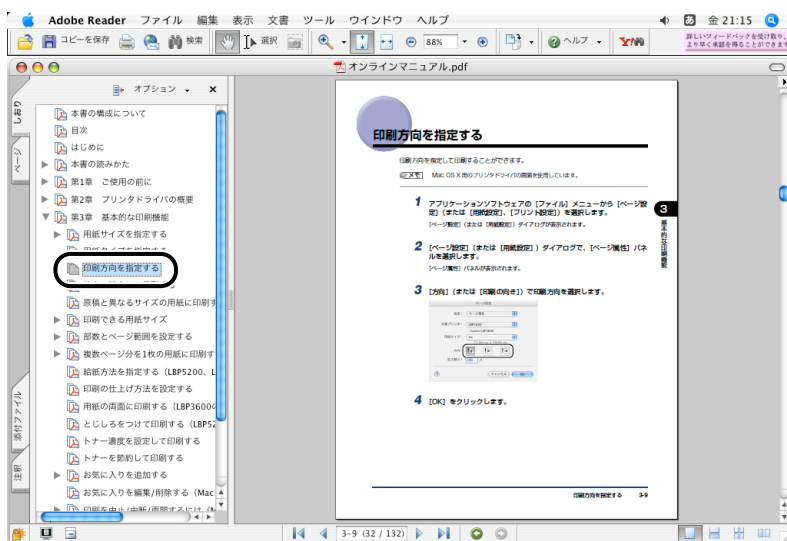
本オンラインマニュアルでは、Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについて説明しています。本オンラインマニュアルをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

使用している Mac OS のバージョンにより、ダイアログの表示が若干異なる場合があります。

本オンラインマニュアル中の画面は、実際の画面と異なる場合があります。

PDF 形式のオンラインマニュアルは、次の方法でご利用いただけます。

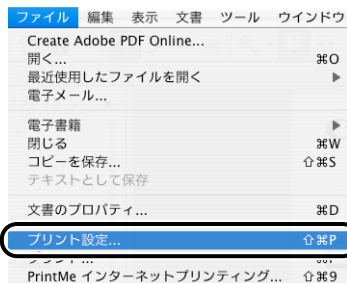
画面上で参照する場合

1 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が表示されます。

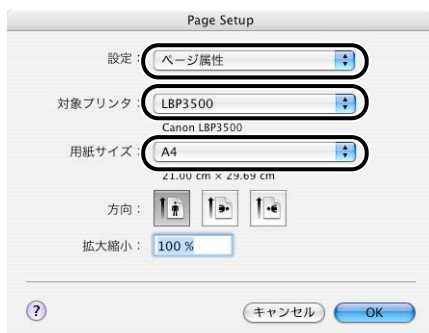
2 オンラインマニュアルを終了するときは、［ファイル］メニューから［閉じる］を選択します。

印刷してから参照する場合

1 オンラインマニュアルを表示します。

2 ［ファイル］メニューから［プリント設定］（または［用紙設定］）を選択します。

3 ［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、次の項目を設定します。

［設定］：ページ属性
［対象プリンタ］：（印刷するプリンタ）
［用紙サイズ］：A4

メモ

- A4 サイズ以外の用紙に印刷すると、文字やイラストが欠けて印刷されることがあります。
- Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

4 ［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

6 ［プリント］をクリックします。

［プリンタ］で印刷するプリンタが選択されているか確認してください。

7 オンラインマニュアルを終了するときは、［ファイル］メニューから［閉じる］を選択します。

プリンタドライバのインストールと印刷方法

2
CHAPTER

CAPT プリンタドライバのインストール方法やCAPTプリンタドライバを使用した印刷方法などについて説明しています。

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→P.2-4）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

また、必要なソフトウェアだけを選択して、カスタムインストールができます。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷先を設定する（→P.2-9）

アプリケーションソフトウェアから印刷する前に、印刷するプリンタを登録する必要があります。

■ 印刷する（→P.2-18）

アプリケーションソフトウェアから、プリンタドライバを使用して印刷を行います。

この操作は、アプリケーションソフトウェアごとに異なりますので、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ コンピュータ

- Power PC プロセッサまたは Intel プロセッサ搭載の Macintosh

■ OS ソフトウェア環境

- Mac OS X 10.2.8/10.3/10.3.1/10.3.2/10.3.3/10.3.4/10.3.5/10.3.6/10.3.7/10.3.8/10.3.9/10.4/10.4.1/10.4.2/10.4.3/10.4.4/10.4.5/10.4.6/10.4.7/10.4.8/10.4.9/10.4.10/10.4.11/10.5/10.5.1

メモ

- 最新のプリンタドライバは、キヤノンホームページより入手することができます。
- Mac OS X の Classic 環境には対応していません。
- 日本語版以外の Mac OS には対応していません。

■ インタフェース環境

- Macintosh に標準で搭載されている USB ポート：USB 2.0 Hi-Speed（Mac OS X 10.3.3 以降のみ）/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

メモ

本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信の USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

■ ハードディスク / メモリ

- 上記 OS が十分に動作する容量

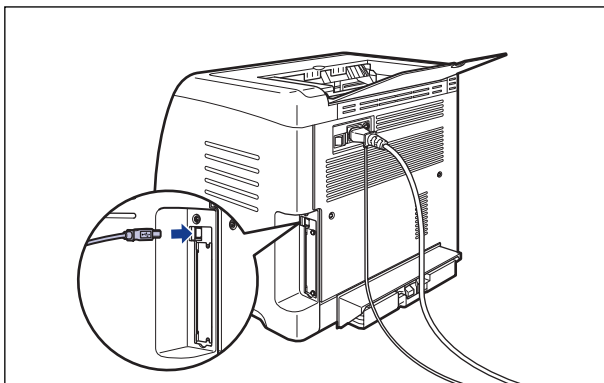
プリンタドライバをインストールする

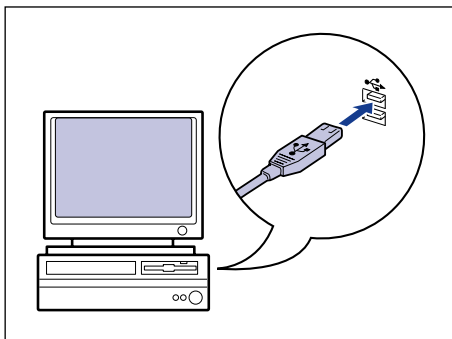
本プリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

重要 インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ
- プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属の CD-ROM(またはキヤノンホームページからダウンロードしたファイル）に収録されている［プリンタドライバ MacOSX］フォルダ内の、「お読みください」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、Macintosh を購入された販売店にお問い合わせください。

1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側をプリンタの USB コネクタへ接続します。

メモ USB ケーブルの接続方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

3 USBケーブルのA タイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

4 コンピュータの電源を入れます。

5 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

6 付属のCD-ROM「LBPXXXX User Software」をCD-ROM ドライブにセットします(XXXX は機種名)。

キヤノンホームページからダウンロードしたプリンタドライバをご使用の場合は、[プリンタドライバ MacOSX]フォルダを開き、手順8に進みます。

7 CD-ROMのアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOSX]フォルダを開きます。

8 [CAPT Installer]アイコンをダブルクリックします。

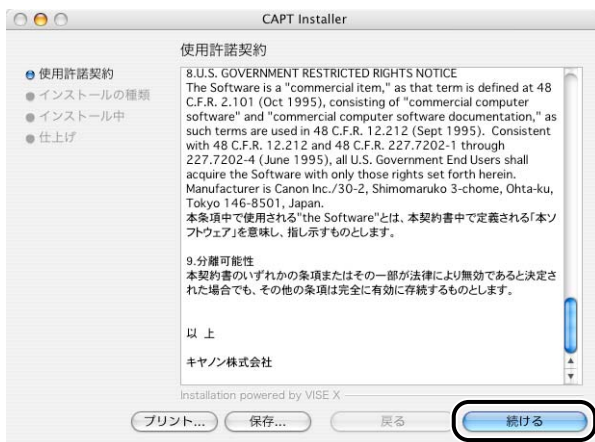
[認証]ダイアログが表示されます。

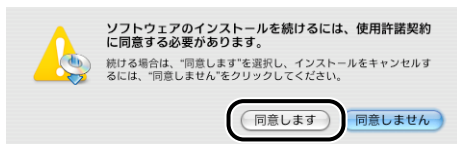
メモ
お使いの環境によっては、[認証]ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 10 へ進んでください。

9 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

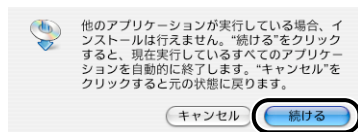
[CAPT Installer] ダイアログが表示されます。

メモ　ここで入力する [名前] と [パスワード] は Mac OS で設定したものです。

10 内容を確認し、[続ける] をクリックします。

メモ
- [プリント] をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- [保存] をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

11 メッセージが表示されますので、[同意します] をクリックします。

12 プルダウンメニューから［簡易インストール］を選択して、［インストール］をクリックします。

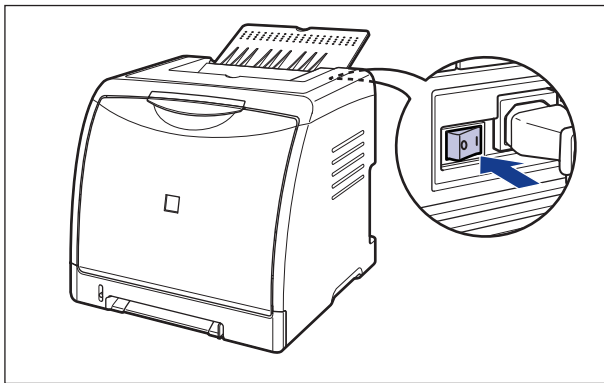
メモ　［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

13 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ
- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。
- ユーティリティソフトウェアの「プリントモニタ」も、同時にインストールされます。

14 インストール完了のメッセージが表示されますので、[再起動] をクリックします。

Macintosh が再起動します。

15 Macintosh の起動後、プリンタの電源をオンにします。

メモ　プリンタの電源の入れかたについては、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

インストールが完了しました。
続けて、「プリンタをプリンタリストに登録する」（➞P.2-9）でプリンタを登録します。

プリンタをプリンタリストに登録する

プリンタドライバを使用するためには、プリンタを［プリンタリスト］に登録する必要があります。

［プリンタリスト］に登録するには、プリンタとコンピュータが接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.x の場合

1 お使いのハードディスク　→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、お使いのハードディスク →［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.3.x をお使いの場合は、［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックし、［プリンタを設定］をクリックしても［プリンタリスト］ダイアログを表示することができます。

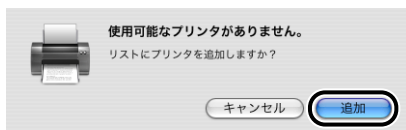
2 ［プリンタリスト］に使用するプリンタが表示されている場合は、プリンタの準備は終了ですので［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。使用するプリンタが表示されていない場合は、手順 3 に進んでください。

重要　以下の条件を満たしている場合は、プリンタが［プリンタリスト］ダイアログに自動的に追加されます。ただし、Mac OS X 10.3.x では自動的に追加されない場合がありますので、その場合、［プリンタ設定ユーティリティ］からプリンタを登録してください。

・プリンタドライバがインストールされている
・プリンタとコンピュータが接続されている
・プリンタの電源がオンになっている

3 [追加] をクリックします。

メモ

- [プリンタリスト] にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、[追加] をクリックします。

- [プリンタリスト] ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

4 [USB] を選択します。

5 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択し、[追加] をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 **使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。**

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 10.4.x の場合

1 **お使いのハードディスク　→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

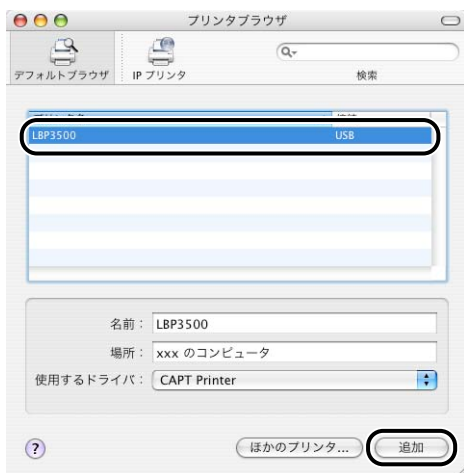
［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリンタリスト］にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、［追加］をクリックします。

3 ［デフォルトブラウザ］をクリックします。

4 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

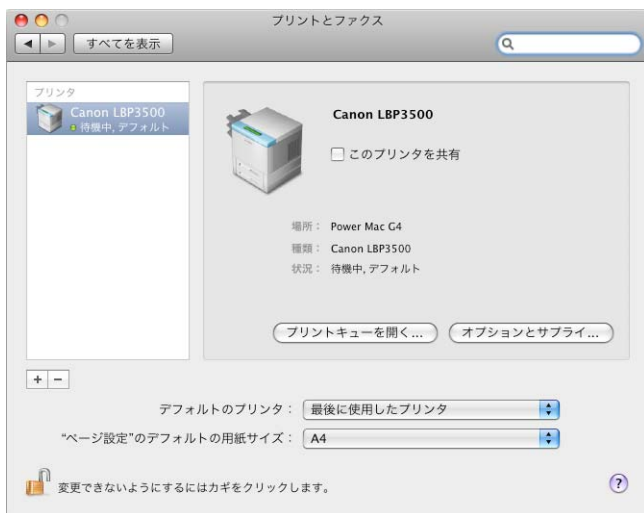
メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 使用するプリンタが表示されていることを確認し、[プリンタリスト] ダイアログを閉じます。

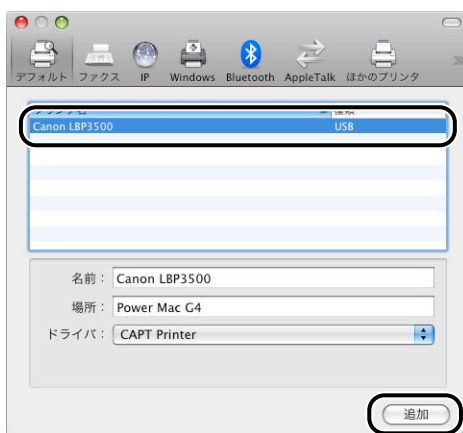
以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 10.5.x の場合

1 [システム環境設定] にある [プリントとファクス] アイコンをクリックします。

2 ［プリンタ］に使用するプリンタが表示されている場合は、プリンタの準備は終了ですので［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。使用するプリンタが表示されていない場合は、手順３に進んでください。

3 ［+］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

5 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

印刷前のプリンタ情報設定

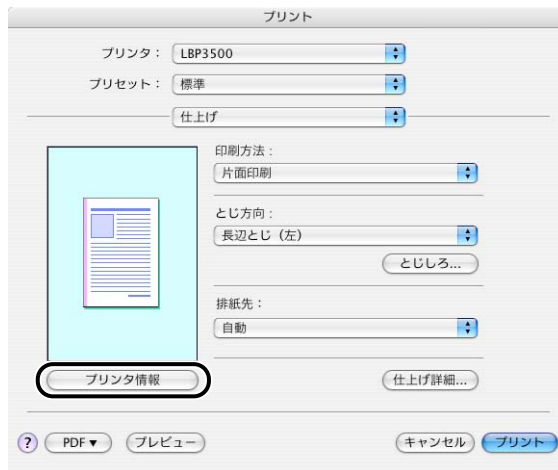
印刷前に、オプション品の装着状況、給紙情報などを設定します。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、以下のいずれかのパネルを選択します。

［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを選択します。

3 ［プリンタ情報］をクリックします。

プリンタの最新の情報を取得し、プリンタドライバのプレビュー表示を更新します。

LBP3500 の場合、［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

［プリンタ構成］シートにはオプションの両面ユニットの装着状況が表示され、［給紙］シートには各給紙部にセットされている用紙のサイズと残量が表示されます。

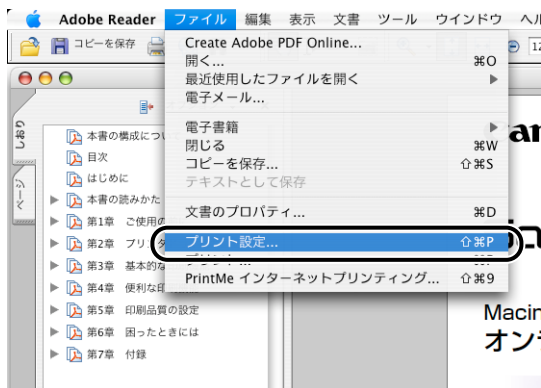
プリンタ情報を確認したあと、［OK］をクリックします。

アプリケーションソフトウェアから印刷する

ここでは、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader を例に、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明します。

なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

1 Adobe Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。

2 [ファイル] メニューから [用紙設定](または [ページ設定]、[プリント設定])を選択します。

[ページ設定]([Page Setup])ダイアログが表示されます。

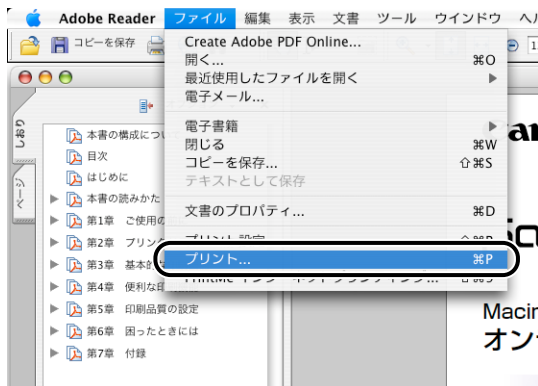
メモ

Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、[ページ設定]([Page Setup])ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、[プリント] ダイアログで [ページ設定]([Page Setup])ダイアログの設定を行います。

3 ［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［対象プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

4 用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小率を設定します。

5 ［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって、表示が若干異なります。

7 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

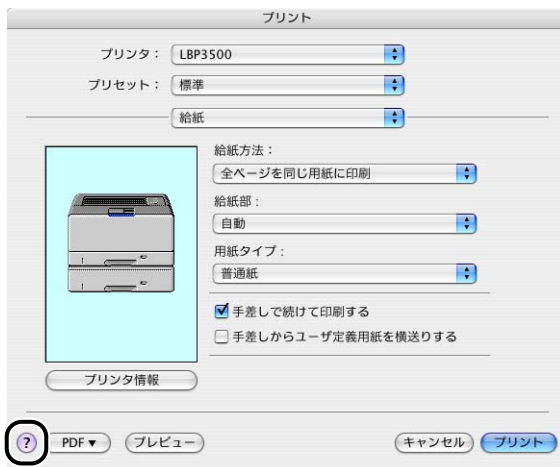
印刷が開始されます。

メモ

- お使いのプリンタが表示されない場合は、以下の手順でプリンタを追加してください。
  - ･Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.x をお使いの場合：［プリンタ］から［プリンタリストを編集］を選択して、［プリントセンター］／［プリンタ設定ユーティリティ］のプリンタリストでご使用のプリンタを追加してください。
  - ･Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x をお使いの場合：［プリンタ］から［プリンタを追加］を選択して、ご使用のプリンタを追加してください。
- 印刷処理中は、CAPT Gauge が表示され、印刷状況を確認することができます。CAPT Gauge を表示させたくないときは、［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルで、［印刷ジョブの進行状況を表示する］のチェックマークを消します。
- 印刷を途中でキャンセルしたときは、プリンタにデータが残ることがあります。このような場合、次の印刷を行う前にプリンタの電源を入れなおし、Macintosh の再起動を行ってください。

プリンタドライバヘルプを表示する

プリンタドライバの設定項目の詳細については、プリンタドライバヘルプを参照してください。プリンタドライバヘルプは、以下のように表示できます。

1 ダイアログ内の［?］をクリックします。

2 各ダイアログのヘルプが表示されます。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

1 **マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。**

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

3 **付属の CD-ROM「LBPXXXX User Software」を CD-ROM ドライブにセットします（XXXX は機種名）。**

キヤノンホームページからダウンロードしたプリンタドライバをご使用の場合は、[プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開き、手順 5 に進みます。

4 **CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。**

5 **[CAPT Installer] アイコンをダブルクリックします。**

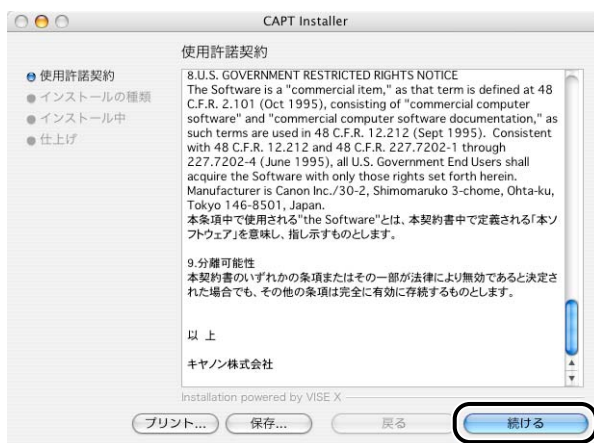
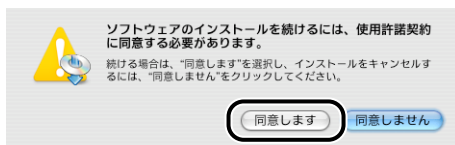
[認証] ダイアログが表示されます。

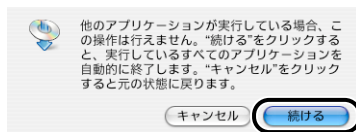
メモ　お使いの環境によっては、[認証] ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 7 へ進んでください。

2　プリンタドライバのインストールと印刷方法

6 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

[CAPT Installer] ダイアログが表示されます。

7 内容を確認し、[続ける] をクリックします。

8 メッセージが表示されますので、[同意します] をクリックします。

9 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

10 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

11 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、［終了］をクリックします。

メモ

アンインストールしても、コンピュータに本プリンタが登録されています。以下の手順で登録されているプリンタを削除してください。

・Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合：
① お使いのハードディスク ➞［アプリケーション］➞［ユーティリティ］フォルダにある［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。
② 本プリンタを選択して［削除］をクリックします。

・Mac OS X 10.3.x ～ 10.4.x をお使いの場合：
① お使いのハードディスク ➞［アプリケーション］➞［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。
② 本プリンタを選択して［削除］をクリックします。

・Mac OS X 10.5.x をお使いの場合：
①［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックします。
② 本プリンタを選択して、[-]をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

基本的な印刷機能

3

CHAPTER

CAPT プリンタドライバの基本的な印刷機能について説明しています。

用紙サイズを指定する

印刷する用紙のサイズを指定します。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 **［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［用紙サイズ］で、印刷する用紙のサイズを指定します。**

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。また、ユーザ定義用紙をお使いになる場合は、「ユーザ定義用紙を設定する」（➞P.4-33）を参照してください。

メモ　LBP5000、LBP3500 の場合、用紙サイズの右に（印字領域 大）と表示されている用紙を選択すると、印字領域を広げて印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。

4 ［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x をお使いの場合で、原稿のサイズと異なる用紙サイズに印刷する場合は、［プリント］ダイアログの［用紙処理］パネルの［出力用紙サイズ］で出力する用紙サイズを設定します。詳しくは、「原稿と異なるサイズの用紙に印刷する（Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x のみ）」（→P.3-9）を参照してください。

用紙タイプを指定する

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。この項目の設定に合わせて、プリンタは良好な印刷結果が得られるように適切な内部処理を自動的に行います。

■ LBP5200

- [普通紙]：64 ～ 105g/m^2 の用紙、ラベル用紙
- [厚紙]：106 ～ 135g/m^2 の用紙

メモ
- 封筒の場合は、[用紙サイズ]（または［出力用紙サイズ]）で［封筒 洋形４号]、[封筒 洋形２号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。
- はがきの場合は、[用紙サイズ]（または［出力用紙サイズ]）で［はがき］に設定すると、自動的にはがきに適した印字モードで印刷されます。
- ラベル用紙の用紙タイプの設定は、通常［普通紙］に設定してください。[普通紙］に設定してプリントしたときに定着性が悪い場合は、[厚紙］に設定してください。[厚紙］に設定しても定着性が向上しない場合は、［特殊印字処理］（[仕上げ］パネル）を［特殊設定 7］に設定してください。

■ LBP5000

- [普通紙]：普通紙（75 ～ 90g/m^2）
- [普通紙 L]：普通紙（60 ～ 74g/m^2）
- [厚紙 1]：厚紙（91 ～ 120g/m^2）
- [厚紙 2]：厚紙（121 ～ 163g/m^2）
- [ラベル用紙]：ラベル用紙
- [OHP フィルム]：OHP フィルム（モノクロ時のみ）
- [はがき]：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがき

メモ
封筒の場合は、[用紙サイズ]（または［出力用紙サイズ]）で［封筒 洋形 ４ 号]、[封筒 洋形２号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。

■ LBP3500

- [普通紙]：普通紙（60 ～ 90g/m^2）
- [普通紙 L]：[普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- [普通紙 H]：[普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したい場合
- [厚紙 L]：厚紙（91 ～ 199g/m^2）
- [厚紙 H]：[厚紙 L］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したい場合
- [OHP フィルム]：OHP フィルム
- [ラベル用紙]：ラベル用紙
- [はがき]：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがき

メモ　封筒の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］、［封筒 角形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。

■ LBP3300

- ［普通紙］：普通紙（75 ～ 90g/m^2）
- ［普通紙 L］：普通紙（60 ～ 74g/m^2）
- ［厚紙 1］：厚紙（91 ～ 120g/m^2）
- ［厚紙 2］：厚紙（121 ～ 163g/m^2）
- ［厚紙 H］：［厚紙 2］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したい場合
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム
- ［ラベル用紙］：ラベル用紙

メモ
- 封筒の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。
- はがきの場合は、「はがきを使用するときの注意（LBP3300、LBP3210、LBP3000 のみ）」（➞P.3-12）を参照してください。

■ LBP3210

- ［普通紙］：64 ～ 80g/m^2 の用紙
- ［普通紙 L］：［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- ［厚紙］：81 ～ 105g/m^2 の用紙、ラベル用紙、［普通紙］に設定した結果、定着性をより改善したい場合
- ［厚紙 H］：106 ～ 163g/m^2 の用紙
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム

メモ
- 封筒の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。
- はがきの場合は、「はがきを使用するときの注意（LBP3300、LBP3210、LBP3000 のみ）」（➞P.3-12）を参照してください。

■ LBP3000

- ［普通紙］：64 ～ 90g/m^2 の用紙、ラベル用紙
- ［普通紙 L］：普通紙（64 ～ 90g/m^2）使用時に、［用紙タイプ］を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- ［厚紙］：91 ～ 163g/m^2 の用紙
- ［厚紙 H］：［厚紙］に設定した結果、定着性をより改善したい場合
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム

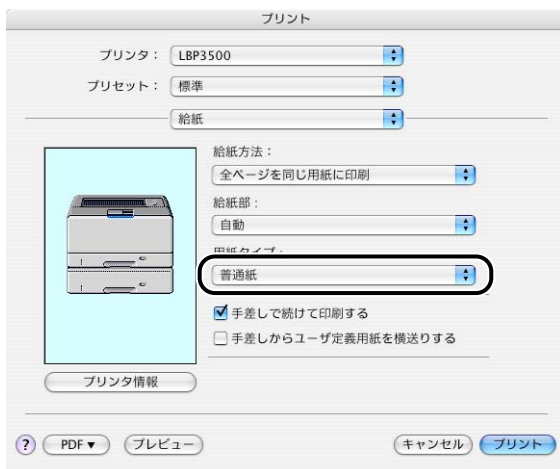
メモ
- 封筒の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。
- はがきの場合は、「はがきを使用するときの注意（LBP3300、LBP3210、LBP3000 のみ）」（➞P.3-12）を参照してください。
- ユーザ定義用紙の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）でユーザ定義用紙に設定すると、自動的にユーザ定義用紙に適した印字モードで印刷されます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。

［給紙］パネルが表示されます。

3 ［用紙タイプ］で、印刷する用紙のタイプを指定します。

4 ［プリント］をクリックします。

印刷方向を指定する

印刷方向を指定して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 **［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［方向］（または［印刷の向き］）で印刷方向を選択します。**

メモ
- Mac OS X10.2.8 ～ 10.4.x をお使いの場合は、［ ］（横）を選択すると、［仕上げ］パネルのプレビューの用紙の上下が逆に表示されます。（［ ］（横（回転））を選択しても、用紙の上下は逆になりません。）
- Mac OS X 10.5.x の場合、［ ］（横（回転））のアイコンは表示されません。お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、回転の設定を［プリント］ダイアログの［レイアウト］パネルの［ページの方向を反転］で行うことができます。

4 **［OK］をクリックします。**

拡大・縮小して印刷する

原稿を拡大、または縮小して印刷することができます。

メモ　設定できる倍率はご使用のアプリケーションソフトウェアによって異なります。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。

［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログの設定を行います。

2 ［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 ［拡大縮小］で、原稿サイズの拡大縮小率を設定します。

4 ［OK］をクリックします。

原稿と異なるサイズの用紙に印刷する（Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x のみ）

通常、原稿はアプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.xでは、これに加えて、原稿のサイズとは異なるサイズの用紙に印刷することもできます。この場合、原稿の内容は、出力する用紙のサイズ（出力サイズ）に合わせて自動的に拡大または縮小して印刷されます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

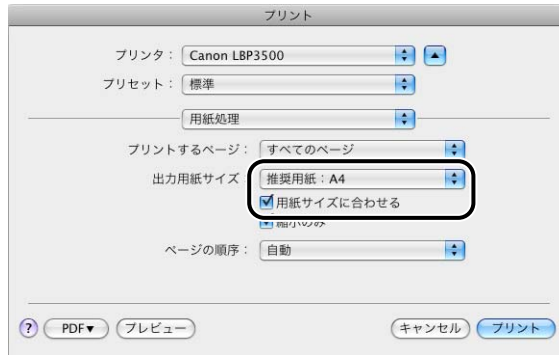
2 **［プリント］ダイアログで、［用紙処理］パネルを選択します。**

［用紙処理］パネルが表示されます。

3 **［出力用紙サイズ］で［用紙サイズに合わせる］を選択したあと、ポップアップメニューから出力する用紙サイズを選択します。**

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。

- Mac OS X 10.4.x の場合

• Mac OS X 10.5.x の場合

メモ　原稿を拡大して印刷したくない場合は、[縮小のみ] にチェックマークを付けます。

4 [プリント] をクリックします。

印刷できる用紙サイズ

お使いのプリンタによって、使用できる用紙サイズが異なります。印刷できる用紙サイズは、以下のとおりです。

メモ
- ユーザ定義用紙は、ユーザが下記の範囲で独自に設定できる用紙サイズです。詳しくは、「ユーザ定義用紙を設定する」(➞P.4-33)を参照してください。
- 使用できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。また、使用する用紙サイズ、用紙の種類によって、給紙方法が異なります。詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

■ LBP5200

A4、A5、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、封筒(洋形 2 号、洋形 4 号)

ユーザ定義用紙(7.62 × 12.7 ~ 21.6 × 35.6 cm)

■ LBP5000

A4、A5、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒(洋形 2 号、洋形 4 号)

ユーザ定義用紙(7.62 × 12.7 ~ 21.6 × 35.6 cm)

■ LBP3500

A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒(洋形 2 号、洋形 4 号、角形 2 号)

以下のユーザ定義用紙:

	手差しトレイ *1	カセット 1	カセット 2 (オプション)
縦置きの場合	幅: 9.80 ~ 31.20cm 長さ: 14.80 ~ 47.00cm	幅: 21.00 ~ 29.70cm 長さ: 21.00 ~ 43.18cm*2	幅: 21.00 ~ 29.70cm 長さ: 21.00 ~ 43.18cm
横置きの場合	幅: 21.00 ~ 29.70cm 長さ: 14.80 ~ 29.70cm	幅: 21.00 ~ 29.70cm 長さ: 14.80 ~ 29.70cm	幅: 21.00 ~ 29.70cm 長さ: 14.80 ~ 29.70cm

*1 手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合は、[給紙] パネルの [手差しからユーザ定義用紙を横送りする] にチェックマークを付けます。
- 幅:14.80cm 以上、29.70cm 以下
- 長さ:21.00cm 以上、29.70cm 以下

ただし、[給紙部] で [自動] を選択して手差しトレイから給紙する場合、以下のサイズのユーザ定義用紙は、[手差しからユーザ定義用紙を横送りする] の設定に関わらず横送りになります。
- 幅:14.80cm 以上、21.00cm 未満
- 長さ:21.00cm 以上、29.70cm 以下

*2 幅が 27.95 ~ 29.70cm の場合、長さは 21.00 ~ 42.00cm になります。

■ LBP3300

A4、A5、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、封筒（洋形２号、洋形４号）

ユーザ定義用紙（7.62 × 12.7 ～ 21.6 × 35.6 cm）

■ LBP3210

A4、A5、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、封筒（洋形２号、洋形４号）

ユーザ定義用紙（7.62 × 12.7 ～ 21.6 × 35.6 cm）

■ LBP3000

A4、A5、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、封筒（洋形２号、洋形４号）

ユーザ定義用紙（7.62 × 12.7 ～ 21.6 × 35.6 cm）

はがきを使用するときの注意（LBP3300、LBP3210、LBP3000 のみ）

■ LBP3300

［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［はがき］に設定した場合は、［プリント］ダイアログの［給紙］－［はがき用の印字モードを変更する］で、印刷処理の方法を選択できます。デフォルトではチェックマークは付いていません。

通常、郵便はがきに印刷する場合は、チェックマークを外しておきます。

チェックマークを付けると、定着性をより改善して印刷します。

■ LBP3210

［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［はがき］／［往復はがき］に設定した場合は、［プリント］ダイアログの［仕上げ］－［仕上げ詳細］－［はがきの用紙タイプ］で、印刷処理の方法を選択できます。デフォルトでは、［はがき / 往復はがき］が選択されています。

- ［はがき / 往復はがき］：郵便はがきや郵便往復はがきに印刷するときに設定します。
- ［普通紙］：はがきや往復はがきサイズの普通紙（64 ～ 80g/m^2）に印刷するときに設定します。
- ［普通紙 L］：［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合に設定します。
- ［厚紙］：はがきや往復はがきサイズの厚紙（81 ～ 105g/m^2）に印刷するときに設定します。また、［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときにも設定します。
- ［厚紙 H］：はがきや往復はがきサイズの厚紙（106 ～ 163g/m^2）に印刷するときに設定します。

■ LBP3000

[ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［はがき］に設定した場合は、［プリント］ダイアログの［給紙］－［はがき用の印字モードを変更する］で、印刷処理の方法を選択できます。デフォルトではチェックマークは付いていません。

通常、郵便はがきに印刷する場合は、チェックマークを外しておきます。

チェックマークを付けると、印刷速度を優先して印刷するため、最適な印字品質が得られない場合があります。

メモ　LBP3000 をご使用の場合でも、［はがき用の印字モードを変更する］が表示されないことがあります。

部数とページ範囲を設定する

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷部数と印刷ページ］パネルを選択します。**

［印刷部数と印刷ページ］パネルが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［印刷部数と印刷ページ］パネルは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］パネルの設定を行います。

3 **［部数］と［ページ］を設定します。**

一部のページのみを印刷するときは、開始ページと終了ページを入力します。

4 2 部以上印刷する場合に部単位で排紙したいときは、[丁合い]（または［部単位で印刷］）にチェックマークを付けます。

メモ

例えば、3 ページの原稿を 2 部印刷する場合に、[丁合い]（または［部単位で印刷］）にチェックマークが付いていると、「123, 123」と部単位ごとに出力されます。チェックマークを外したときには、「11, 22, 33」とページごとに出力されます。

5 [プリント］をクリックします。

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する

複数ページの原稿を並べて、1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［レイアウト］パネルを選択します。**

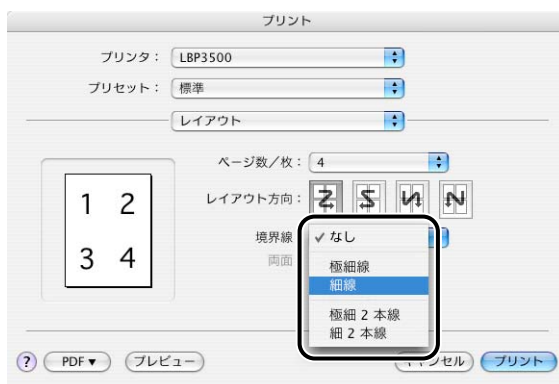
［レイアウト］パネルが表示されます。

3 **［ページ数／枚］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。**

選択できるページ数は、1、2、4、6、9、16 ページ数／枚のいずれかです。

4 ［レイアウト方向］で、［ページ数／枚］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。

メモ　Mac OS X 10.2.8 ～ 10.4.x をお使いの場合、［ページ属性］パネルの［方向］で、［ ］（横）を選択すると［レイアウト］パネルのプレビューと［仕上げ］パネルのプレビューとでは、ページの表示順が変わります。（［ ］（横（回転））を選択しても、ページの表示順は変わりません。）実際のレイアウトを確認するには［仕上げ］パネルを表示してください。

5 各ページに境界線（枠線）をつける場合は、［境界線］／［枠線］で線の種類を設定します。

6 ［プリント］をクリックします。

給紙方法を指定する（LBP5200、LBP5000、LBP3500、LBP3300 のみ）

特定の給紙部を指定して印刷することができます。通常は、自動的に最適な給紙部から印刷を行います。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

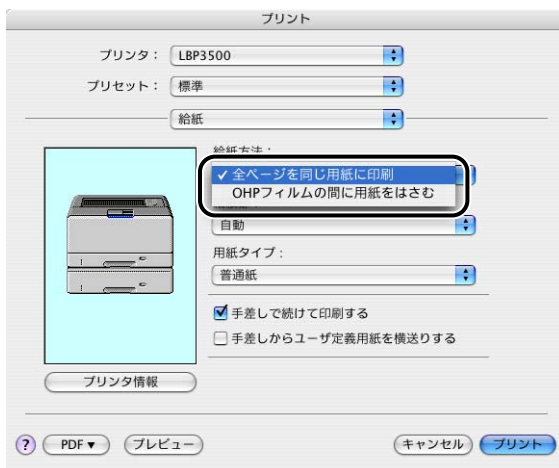
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。

［給紙］パネルが表示されます。

3 LBP3500 の場合、［給紙方法］を設定します。

［全ページを同じ用紙に印刷］：［給紙部］の指定をすべてのページで同一にします。

［OHP フィルムの間に用紙をはさむ］：OHP フィルムに出力するときに、それぞれの OHP フィルムの間に別の用紙をはさんで出力します。この項目は、［用紙サイズ］／［出力用紙サイズ］の設定が A4 またはレターの場合のみ選択できます。

4 ［給紙部］で、用紙を給紙する場所を選択します。

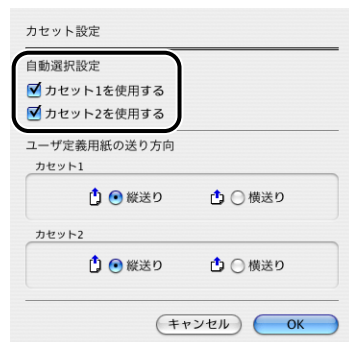
重要

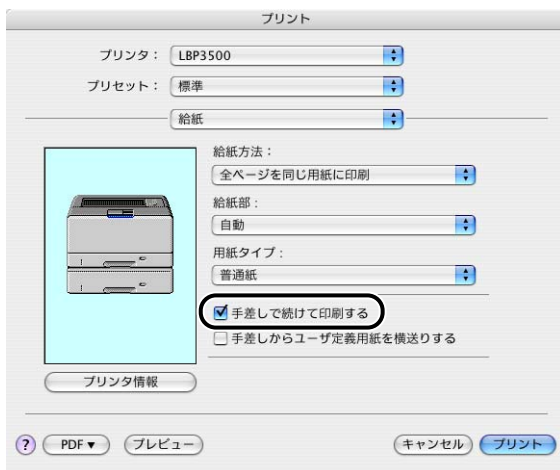
LBP5000、LBP3300の場合、以下の用紙タイプを手差し給紙口から給紙する場合は、［給紙部］で［手差し給紙口］を選択してください。［自動］を選択した場合、手差し給紙口からは給紙できません。

・LBP5000：全ての用紙タイプ

・LBP3300：［普通紙］、［普通紙 L］、［厚紙 1］

メモ

LBP3500 の場合、［給紙部］の設定を［自動］にしたとき（自動給紙選択時）に、どの給紙カセットを自動給紙選択の対象とするかを、プリントモニタの［デバイス設定］ダイアログにある［カセット設定］で選択することができます。

5 LBP5200、LBP3500 の場合、必要に応じて、[手差しで続けて印刷する] にチェックマークを付けます。

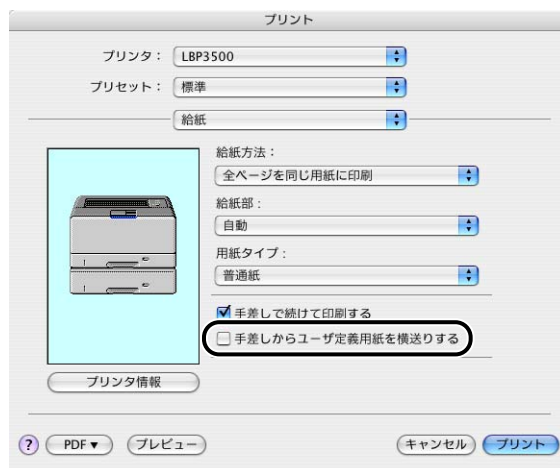
チェックマークを付けると、カセットの用紙がなくなった場合、手差しトレイから給紙します。チェックマークを消すと、カセットの用紙がなくなった場合、メッセージを表示して一時停止します。

メモ

[手差しで続けて印刷する] にチェックマークを付けた場合は、カセットと手差しトレイに異なるサイズの用紙がセットされている場合でも、カセットの用紙がなくなると手差しトレイから給紙する場合があります。そのため、チェックマークを付けた場合は、カセットと手差しトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。

6 LBP3500 の場合、必要に応じて、[手差しからユーザ定義用紙を横送りする］にチェックマークを付けます。

手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。

• 幅：14.80cm 以上、29.70cm以下

• 長さ：21.00cm以上、29.70cm以下

重要

［給紙部］で［自動］を選択して手差しトレイから給紙する場合、以下のサイズのユーザ定義用紙は、［手差しからユーザ定義用紙を横送りする］の設定に関わらず横送りになります。

・幅：14.80cm 以上、21.00cm 未満

・長さ：21.00cm 以上、29.70cm 以下

7 ［プリント］をクリックします。

排紙先を指定する（LBP3500 のみ）

印刷した用紙をどの排紙先に排紙するかを設定します。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

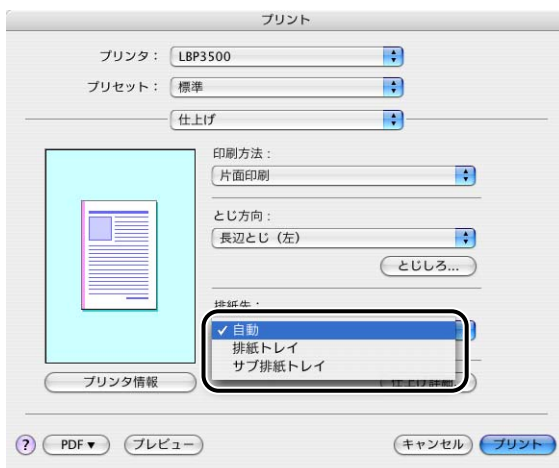
2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［排紙先］を設定します。**

［自動］：サブ排紙トレイの開閉状態で、排紙先が自動的に決まります。サブ排紙トレイが開いている場合は、サブ排紙トレイに排紙し、サブ排紙トレイが閉まっている場合は、排紙トレイに排紙します。

［排紙トレイ］：プリンタ上部にある排紙トレイに下向き（フェースダウン）で排紙します。印刷時にサブ排紙トレイが開いている場合は、メッセージを表示して、印刷を停止します。サブ排紙トレイを閉めると、自動的に印刷を再開します。

［サブ排紙トレイ］：プリンタ背面にあるサブ排紙トレイに上向き（フェースアップ）で排紙します。印刷時にサブ排紙トレイが閉まっている場合は、メッセージを表示して、印刷を停止します。サブ排紙トレイを開けると、自動的に印刷を再開します。

サブ排紙トレイは、上向き（フェースアップ）で排紙されるため、1 ページ目から印刷するとページ順が逆に積み重なって排紙されます。最終ページから印刷してページ順を揃えて排紙するときは、［仕上げ詳細］ダイアログの［サブ排紙トレイ使用時に排紙順序を逆にする］にチェックマークが付いていることを確認してから印刷してください（［サブ排紙トレイ使用時に排紙順序を逆にする］の初期設定値は、チェックマークが付いている状態です）。

4 ［プリント］をクリックします。

印刷の仕上げ方法を設定する

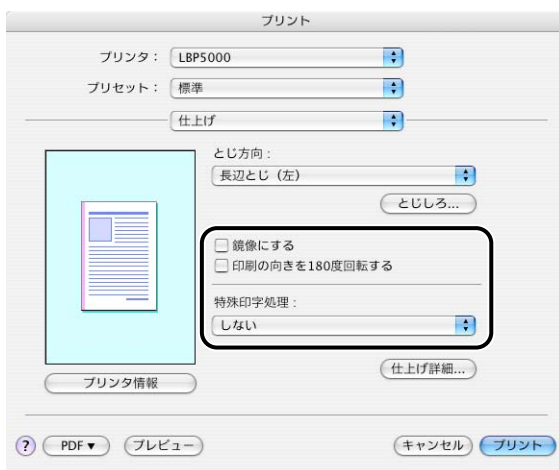
鏡像印刷や回転印刷など、仕上げ方法を指定して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 必要に応じて以下の項目を設定します。

LBP3500 の場合は、［仕上げ詳細］ダイアログおよび［処理オプション］ダイアログを表示して設定します。［仕上げ詳細］ダイアログは、［仕上げ］パネルで［仕上げ詳細］をクリックして表示します。［処理オプション］ダイアログは、［仕上げ詳細］ダイアログで［処理オプション］をクリックして表示します。

設定内容は、以下の通りです。

［鏡像にする］	用紙の方向に対する印刷の向きを鏡像印刷（左右を反転して印刷）で印刷します。OHP フィルムを印刷するときに便利な機能です。
［印刷の向きを 180 度回転する］＊	用紙の方向に対する印刷の向きを 180 度回転させて印刷します。特定の方向のみでしか給紙できないインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。
［特殊印字処理］（LBP5200、LBP5000、LBP3500 のみ）	印字品質のトラブルを解決するための設定や、トラブルを未然に防ぐための設定がいくつか用意されています。設定項目の詳細については、「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。（→ プリンタドライバヘルプを表示する：P.2-21）

＊ 用紙サイズに関係なく設定できるため、印刷イメージが切れる場合があります。

4 **［プリント］をクリックします。**

用紙の両面に印刷する（LBP3500、LBP3300 のみ）

自動的に 2 ページ分の原稿を用紙の両面に印刷することができます。

重要　LBP3300 で両面印刷する場合は、必ず用紙サイズ切り替えレバーが正しくセットされていることを確認してください。用紙サイズ切り替えレバーが正しくセットされていないと、紙づまりの原因になります。
用紙サイズ切り替えレバーのセット方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

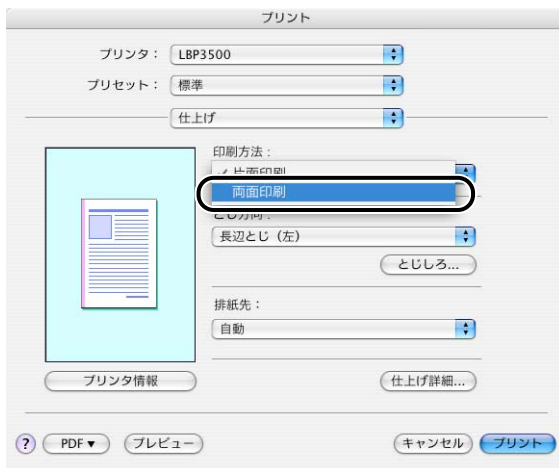
メモ　LBP3500 の場合、両面印刷は、オプションの両面ユニットを装着している場合に利用できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、［両面印刷］を選択します。

4 ［プリント］をクリックします。

とじしろをつけて印刷する（LBP5200、LBP5000、LBP3500、LBP3300 のみ）

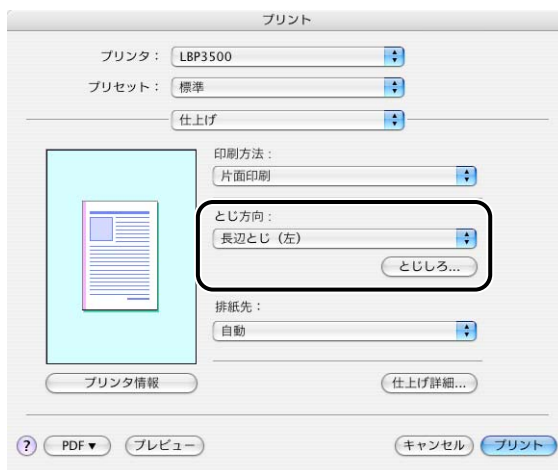
とじしろをつけて印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［とじ方向］で、とじしろをつける方向を選択し、［とじしろ］をクリックします。

メモ　とじしろは、原稿の「左」「右」「上」「下」に設定することができます。［とじ方向］を設定すると、設定位置を示すプレビューが表示されます。

3 基本的な印刷機能

4 [とじしろ] で、とじしろの幅を設定します。

メモ

- とじしろの幅は、0 ～ 30mm の範囲内で、1mm 単位で設定することができます。
- とじしろの幅を0～5mmの範囲で設定しても、5mmに設定した場合と同様に印刷されます。

5 [とじしろ指定] ダイアログの [OK] をクリックします。

6 [プリント] をクリックします。

3

基本的な印刷機能

トナー濃度を設定して印刷する

原稿の印刷濃度を設定することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

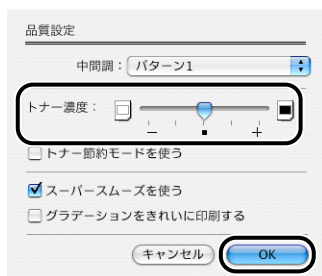
2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［トナー濃度］のつまみを左右にドラッグして濃度設定を変更し、［OK］をクリックします。

LBP5000の場合、トナーの色ごと（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）に設定可能です。

5 ［プリント］をクリックします。

トナーを節約して印刷する

データを間引いて印刷することで、トナーを節約することができます。原稿を校正するときなどにご利用いただけます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［トナー節約モードを使う］／［ドラフトモード］にチェックマークを付けたあと、［OK］をクリックします。

5 ［プリント］をクリックします。

お気に入りを追加する

［プリント］ダイアログの各パネルで設定している項目を、「お気に入り」としてあらかじめ登録できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの各パネルで、登録する機能を設定します。**

3 **［プリセット］のポップアップメニューから［別名で保存］を選択します。**

［プリセットを保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存するプリセットの名前］を入力したあと、［OK］をクリックします。

設定が保存されます。

メモ　「お気に入り」を使って印刷するときは、［プリセット］のポップアップメニューから使用したい項目を選択します。

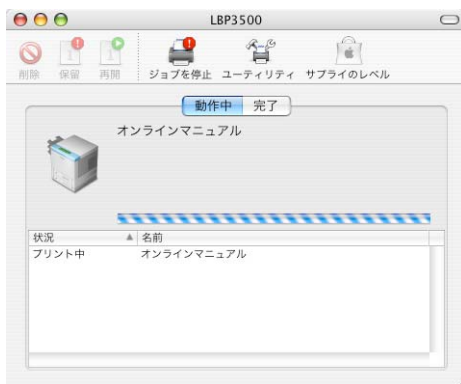
印刷を中止 / 中断 / 再開するには

Mac OS X の機能を使って、印刷を中止、一時停止、再開することができます。これらの操作はプリンタキューウィンドウで行います。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.4.x の場合

1 お使いのハードディスクから、[プリントセンター] ／ [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。

2 [プリンタリスト] から、お使いのプリンタをダブルクリックします。

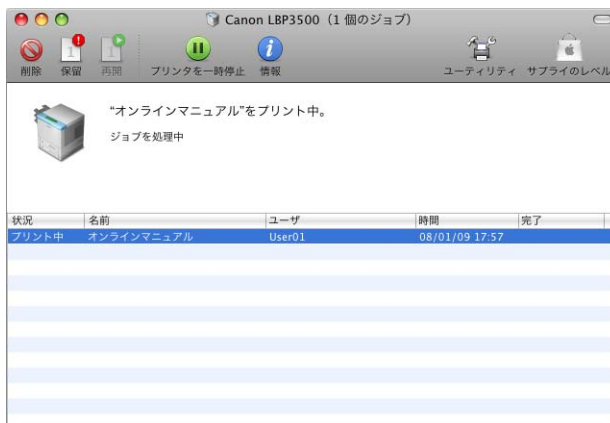
3 プリンタキューウィンドウが表示されます。

印刷する文書名のリストが表示されます。文書名の左には印刷ジョブの状況が表示されます。

印刷を中止する場合	リスト内のジョブの名前を選択し、［削除］をクリックします。
印刷を中断する場合	リスト内のジョブの名前を選択し、［保留］をクリックします。ジョブの状況が［保留］に変更されます。
印刷を再開する場合	リスト内にある、状況が［保留］のジョブの名前を選択します。その後、［再開］をクリックすると、印刷を再開します。

Mac OS X 10.5.x の場合

1 ［システム環境設定］から［プリントとファクス］を選択します。

2 お使いのプリンタを選択して、［プリントキューを開く］をクリックします。

3 プリンタキューウィンドウが表示されます。

印刷する文書名のリストが表示されます。文書名の左には印刷ジョブの状況が表示されます。

印刷を中止する場合	リスト内のジョブの名前を選択し、［削除］をクリックします。
印刷を中断する場合	リスト内のジョブの名前を選択し、［保留］をクリックします。ジョブの状況が［保留］に変更されます。
印刷を再開する場合	リスト内にある、状況が［保留］のジョブの名前を選択します。その後、［再開］をクリックすると、印刷を再開します。

便利な印刷機能

CAPT プリンタドライバの便利な印刷機能について説明しています。

印刷のスケジュールを設定する（Mac OS X 10.3.x ～ 10.5.x のみ）

印刷する時刻を指定したり、ジョブに優先順位をつけて印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［スケジューラ］パネルを選択します。**

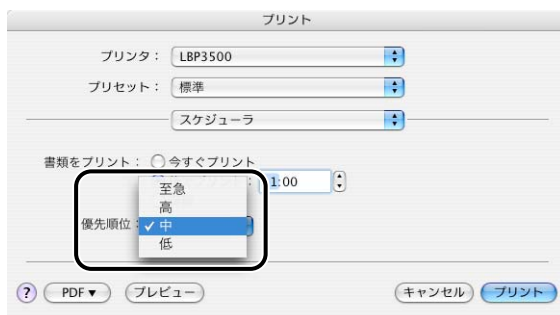
［スケジューラ］パネルが表示されます。

3 **［書類をプリント］／［書類のプリント］から、いつ印刷するかを選択します。**

［後でプリント］を選択した場合は、印刷時刻を設定します。

メモ　［保留］を選択して印刷した場合、プリンタキューウィンドウで保留したのと同じ状態になります。保留したジョブを印刷するには、プリンタキューウィンドウで［再開］をクリックします。

4 ［優先順位］から［至急］、［高］、［中］、［低］を選択します。

優先順位は［至急］が一番高く、［低］が一番低く設定されます。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷ページの順番を変える（Mac OS X 10.3.x 〜 10.5.x のみ）

ページ順を逆にして印刷したり、奇数ページ・偶数ページのみを印刷することができます。この 2 つの機能を使うことで、手動で両面印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［用紙処理］パネルを選択します。

［用紙処理］パネルが表示されます。

3 ページ順を逆にする場合は、以下の設定を行います。

● Mac OS X 10.3.x の場合

❑ ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付けます。

● Mac OS X 10.4.x の場合

❑ ［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

● Mac OS X 10.5.x の場合

❑ ［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

4 奇数ページ・偶数ページのみを印刷する場合は以下の設定を行います。

● Mac OS X 10.3.x の場合

❏ ［プリント］で［奇数ページ］、［偶数ページ］を選択します。

● Mac OS X 10.4.x の場合

❏ ［プリント］で［奇数ページ］、［偶数ページ］を選択します。

● Mac OS X 10.5.x の場合

❏ ［プリントするページ］で［奇数ページのみ］、［偶数ページのみ］を選択します。

5 ［プリント］をクリックします。

手動で両面印刷する手順例

• Mac OS X 10.3.x の場合

1. ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付け、［プリント］で［偶数ページ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
   印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを外し、［プリント］で［奇数ページ］を指定し印刷します。

• Mac OS X 10.4.x の場合

1. ［ページの順序］で［逆送り］を選択し、［プリント］で［偶数ページ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
   印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序］で［通常］を選択し、［プリント］で［奇数ページ］を指定し印刷します。

• Mac OS X 10.5.x の場合

1. ページの順序］で［逆送り］を選択し、［プリントするページ］で［偶数ページのみ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
   印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序］で［通常］を選択し、［プリントするページ］で［奇数ページのみ］を指定し印刷します。

色フィルタを指定する（Mac OS X 10.3.x ～ 10.4.x のみ）

印刷するときに Quartz フィルタで色処理を行います。Quartz フィルタは、［PDF として保存］をするときにも有効です。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［ColorSync］パネルを選択します。

［ColorSync］パネルが表示されます。

3 ［Quartz フィルタ］でフィルタを選択します。

Quartz フィルタは標準で以下の種類が用意されています。お好みに合わせて選択してください。

[Black & White]	白と黒の２色（モノクロ２階調）に変換します。
[Blue Tone]	色の部分を青に変換します。
[Gray Tone]	色の部分を黒（グレースケール）に変換します。
[Lightness Decrease]	明度を下げます。
[Lightness Increase]	明度を上げます。

[Reduce File Size]	ファイルサイズを小さくします。
[Sepia Tone]	セピア調に変換します。

4 **［プリント］をクリックします。**

表紙ページを印刷する（Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x のみ）

ジョブの前または後に表紙ページを付けて印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［表紙］パネルを選択します。

［表紙］パネルが表示されます。

3 ジョブの前に表紙を付ける場合は［表紙をプリント］で［書類の前］を選択し、ジョブの後に表紙（裏表紙）を付ける場合は［書類の後］を選択します。

4
便利な印刷機能

4 ［表紙のタイプ］で表紙のタイプを選択します。

5 ［課金情報］に表紙に印刷する課金情報を入力します。

6 ［プリント］をクリックします。

原稿を PDF ファイルとして保存する

原稿を用紙へ印刷する代わりに PDF 形式のファイルとして保存することができます。

Mac OS X 10.2.8 〜 10.3.x の場合

1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。

2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

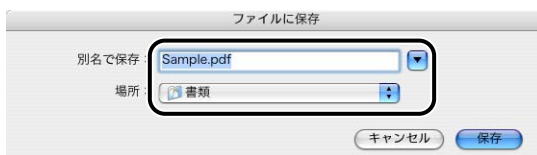
[プリント] ダイアログが表示されます。

3 [PDF として保存] をクリックします。

[ファイルに保存] ダイアログが表示されます。

メモ

[出力オプション] パネルを表示して [ファイルとして保存] にチェックマークを付けて [保存] をクリックしても PDF として保存することができます。Mac OS 10.3.x をお使いの場合は、[フォーマット] でファイル形式を選択することもできます。

4 ［ファイルに保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

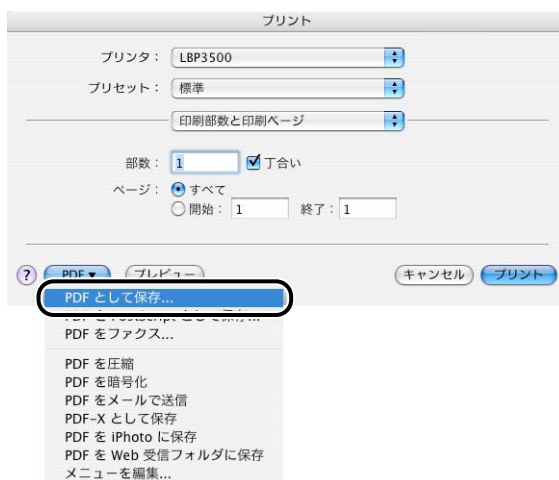
PDF形式でファイルが作成されます。

Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x の場合

1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［PDF］から［PDFとして保存］を選択します。

［保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

PDF 形式でファイルが作成されます。

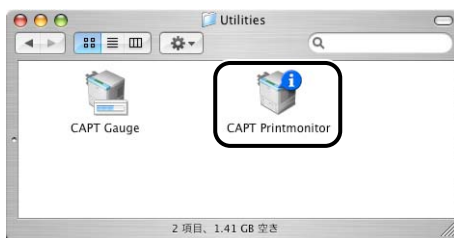
プリントモニタを利用する

プリントモニタは、プリンタソフトウェアと連動して動作するアプリケーションソフトウェアです。プリントモニタを使用すると、用紙切れなどのプリンタ状態をコンピュータ上で確認したり、プリンタ内部のクリーニングをすることができます。

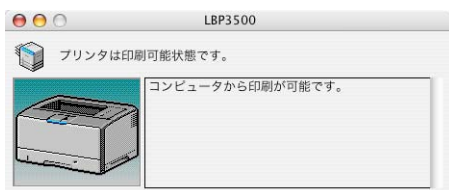
プリントモニタを起動する

プリントモニタは、次の手順で起動します。

1 お使いのハードディスクから［ライブラリ］→［Printers］→［Canon］→［CAPT］の順にクリックし、［Utilities］フォルダを開きます。

2 ［CAPT Printmonitor］アイコンをダブルクリックします。

［プリントモニタ］ウィンドウが表示されます。

4

便利な印刷機能

メモ

- プリントモニタは次の方法でも起動することができます。
  - ･Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］を開き、お使いのプリンタを選択し、［設定］をクリックします。
  - ･Mac OS X 10.3.x ～ 10.4.x をお使いの場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］を開き、お使いのプリンタを選択し、［ユーティリティ］をクリックします。
  - ･Mac OS X 10.5.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログでお使いのプリンタを選択し、［プリントキューを開く］をクリックして、［ユーティリティ］をクリックします。
- デスクトップにプリントモニタのエイリアスを作成しておくと、エイリアスをダブルクリックするだけでプリントモニタを起動することができて便利です。

［ファイル］メニュー

プリントモニタの［ファイル］メニューには、次の機能があります。

■［開く］

［プリントモニタ］ウィンドウを開きます。

■［閉じる］

［プリントモニタ］ウィンドウを閉じます。

■［初期設定］

［初期設定］ダイアログが表示されます。［初期設定］ダイアログで、ポーリング間隔（プリンタの情報を取得する間隔）の設定を行います。

［プリンタ］メニュー

プリントモニタの［プリンタ］メニューには、次の機能があります。

■ ［プリンタ名］

印刷状況を監視できる出力先（プリンタ）が表示されます。複数の出力先がある場合は、監視したい出力先を選択します。

■ ［監視プリンタを検索］

［プリンタ］メニューに目的の出力先が表示されていない場合、［監視プリンタを検索］を選択することによって、目的の出力先を検索できます。

■ ［プリンタ情報を取得］

「プリンタから情報を取得しています」のメッセージが表示されます。

■ ［デフォルト値にする］

ウィンドウに表示されている出力先を登録します。

メモ　LBP5200 や LBP5000、LBP3500、LBP3300 をお使いの場合、プリンタ側でカセットの構成などのプリンタ構成を変更した場合、必ず、［プリンタ］メニューから［プリンタ情報を取得］を選択するか、［プリント］ダイアログで［プリンタ情報］をクリックしてください。この操作を行わないときは、正しく印刷されないことがあります。

［オプション］メニュー

プリントモニタの［オプション］メニューには、次の機能があります。

■ ［用紙サイズの登録］（LBP5200、LBP5000、LBP3300 のみ）

LBP5200、LBP5000、LBP3300 の給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。

［用紙サイズの登録］ダイアログが表示されますので、［カセット 1］や［カセット 2］のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択します。

■ ［消耗品 / カウンタ情報］（LBP5200、LBP5000 のみ）

トナーカートリッジやドラムカートリッジ（LBP5200 のみ）の寿命の確認をすることができます。また、印刷ページ数を確認することもできます。

［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログには、各色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの寿命を示すアイコンとメッセージが表示されます。

■ [ユーティリティ]

[クリーニング 1]	· LBP3210、LBP3000 の場合 トナーカートリッジを交換した時、及び印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に、クリーニングを行います。 · LBP5200、LBP5000、LBP3500、LBP3300 の場合 印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、プリンタのクリーニングを行います。
[キャリブレーション] (LBP5200、LBP5000 のみ)	· LBP52000 の場合 手動でプリンタのキャリブレーションを行います。キャリブレーションは通常、12 時間ごとまたは 800 イメージ（フルカラープリント : 200 ページ、モノクロプリント : 800 ページ）を印刷すると自動的に行われますが、色味が変わってしまったときなどに実行します· · LBP5000 の場合 手動でプリンタのキャリブレーションを行います。色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときや色ズレが発生するときなどに実行します。
[プリンタステータスプリント] (ＬＢＰ５０００、ＬＢＰ３５００、LBP3300、LBP3210 のみ)	プリンタドライバのバージョンなどの情報が印刷されます。
[印字位置調整プリント] (LBP3500 のみ)	印字位置を調整するときに印刷します。

■ [デバイス設定]（LBP5000、LBP3500、LBP3300 のみ）

[デバイス設定] ダイアログを表示します。[デバイス設定] ダイアログでは、以下の設定をすることができます。

• LBP5000 の場合

[スリープ設定]	スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が［移行時間］で設定した時間を経過したときに、スリープモードに移行します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモードを使用する場合は、[スリープモードを使用する] にチェックマークを付けて、スリープモードに移行するまでの時間を［移行時間］で設定します。

[キャリブレーション設定]	毎日、指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うには、[定刻キャリブレーションタイマーを使用する] にチェックマークを付けて、キャリブレーションを行う時刻を [時刻] で設定します。ただし、前回のキャリブレーション実行時から 30 分以内に、[時刻] で指定した時刻に達した場合は、キャリブレーションは実行されません。 また、コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態のまま一定の時間が経過したときに、自動的に定期間隔でキャリブレーションを行うには、[定期間隔で自動キャリブレーションする] にチェックマークを付けます。ただし、頻繁にキャリブレーションを行うと、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。
[警告表示設定]	プリンタの状態を警告するメッセージ（トナーカートリッジの交換時期が近づいたことを知らせるメッセージ）をプリントモニタに表示するかどうかを設定します。
[時刻通知設定]	表示されたダイアログで [OK] をクリックすると、お使いのコンピュータで設定されている時刻がプリンタに通知されます。
[小サイズ紙特殊設定]	幅の狭い用紙（A5 サイズなど）から幅の広い用紙（A4 サイズなど）へ切り替えて印刷する場合、印字品質を保つために、一時的に印刷を中断し、定着器の冷却を行うことがあります。このときの印刷待ち時間を設定します。

• LBP3500 の場合

[印字位置調整]	[オプション] メニューの [ユーティリティ] にある [印字位置調整プリント] で出力した印字位置調整プリントで印字位置を確認し、印字位置（横位置）をリストから選択します。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に選択した数値だけ移動します。
[ジョブキャンセルキー設定]	ジョブキャンセルキーを使用してキャンセルすることができるジョブを設定します。このダイアログでの設定は、すべてのユーザのジョブに対して有効となります。
[スリープ設定]	スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が [移行時間] で設定した時間を経過したときに、スリープモードに移行します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモードを使用する場合は、[スリープモードを使用する] にチェックマークを付けて、スリープモードに移行するまでの時間を [移行時間] で設定します。
[カセット設定]	[給紙] パネルの [給紙部] を [自動] に設定した場合（自動給紙選択時）に、どの給紙カセットを使用するかや、ユーザ定義用紙の送り方向の設定を行います。
[時刻通知設定]	表示されたダイアログで [OK] をクリックすると、お使いのコンピュータで設定されている時刻がプリンタに通知されます。

• LBP3300 の場合

[ジョブキャンセルキー設定]	ジョブキャンセルキーを使用してキャンセルすることができるジョブを設定します。このダイアログでの設定は、すべてのユーザのジョブに対して有効となります。
[時刻通知設定]	表示されたダイアログで［OK］をクリックすると、お使いのコンピュータで設定されている時刻がプリンタに通知されます。

プリンタをクリーニングする

LBP3300、LBP3210、LBP3000 の場合

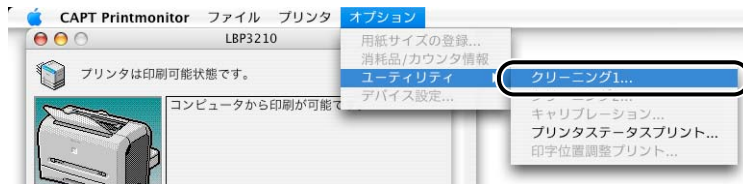
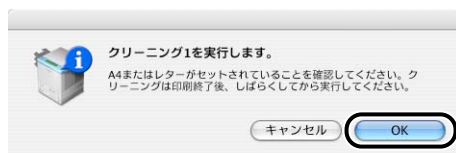
印刷した用紙の表面に黒点状の汚れが付着するときには、以下の手順に従って、クリーニングを行ってください。

メモ　LBP3210、LBP3000 の場合は、トナーカートリッジの交換後にもクリーニングを行います。

1 **プリンタに A4 またはレターサイズの用紙をセットします。**

2 **プリントモニタを起動します。**

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（→P.4-15）を参照してください。

3 **プリントモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング 1］を選択します。**

4 **メッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。**

クリーニングがはじまります。

「クリーニング中です」のメッセージが表示されます。用紙が排出され、メッセージが消えれば終了です。

メモ　クリーニングは印刷中、エラー中、または印刷終了後 30 秒間以内には行えません。印刷終了後 30 秒間以内にクリーニングを行うと、プリントモニタでサービスエラーが発生します。その際は、プリンタの電源を入れ直して、もう一度クリーニングを行ってください。

LBP5200、LBP5000、LBP3500 の場合

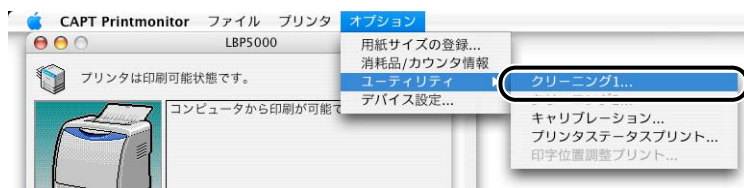
印刷した用紙の表面に黒点状の汚れが付着するときには、以下の手順に従って、クリーニングを行ってください。

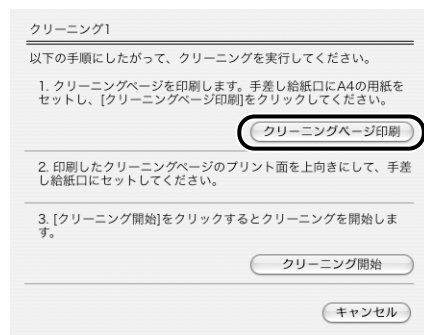
1 手差しトレイ（LBP5200、LBP3500　の場合）または手差し給紙口（LBP5000 の場合）に A4 サイズの用紙を 1 枚セットします。

メモ　LBP3500 の場合、給紙カセットに A4 サイズの用紙がセットされていれば、手差しトレイにセットする必要はありません。

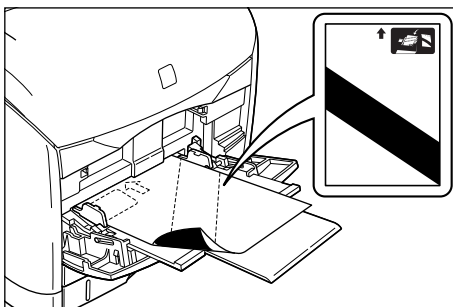
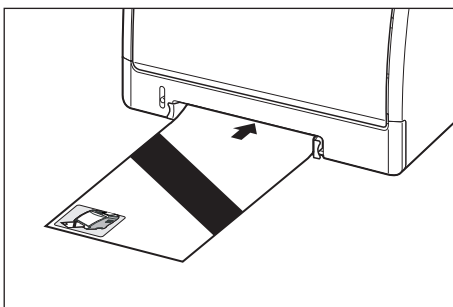
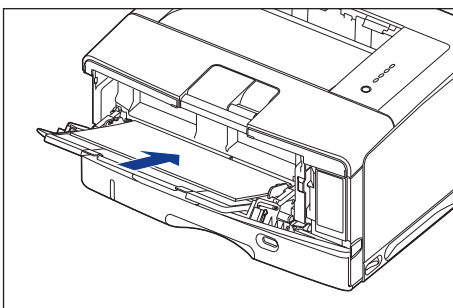
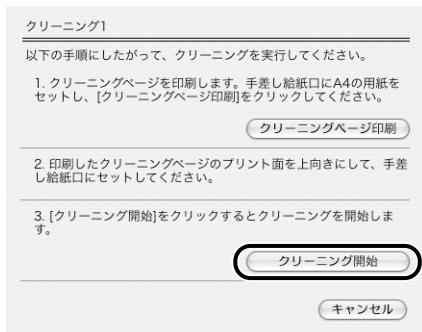
2 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（→P.4-15）を参照してください。

3 プリントモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング 1］を選択します。

［クリーニング 1］ダイアログが表示されます。

4 メッセージを確認し、［クリーニングページ印刷］をクリックします。

クリーニングページが印刷されます。

5 印刷されたクリーニングページをセットします。

● LBP5200 の場合、クリーニングページの印刷された面を下にして、矢印が奥になるように手差しトレイにセットします。

● LBP5000 の場合、クリーニングページの印刷された面を上にして、手差し給紙口にセットします。

● LBP3500 の場合、クリーニングページの印刷された面を下にして、手差しトレイにセットします。

6 ［クリーニング開始］をクリックします。

用紙がゆっくりと送られて、クリーニングを開始します。

メモ
- クリーニングの実行には、LBP5200 の場合約 180 秒、LBP5000 の場合約 90 秒、LBP3500 の場合約 75 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

プリンタのキャリブレーションを行う（LBP5200、LBP5000 のみ）

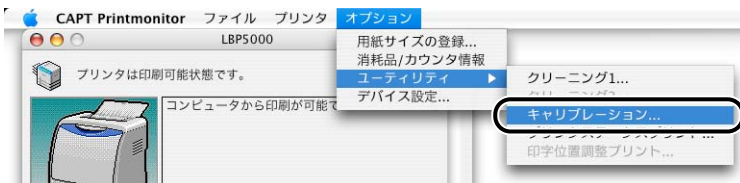
印刷した色味が以前と変わってしまったときには、次の手順でプリンタのキャリブレーションを行います。

重要　頻繁にキャリブレーションを行うと、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。

---

1 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（→P.4-15）を参照してください。

2 プリントモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［キャリブレーション］を選択します。

3 メッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

キャリブレーションがはじまります。
キャリブレーションの実行には、LBP5200 の場合約 65 秒、LBP5000 の場合約 180 秒かかります。しばらくお待ちください。

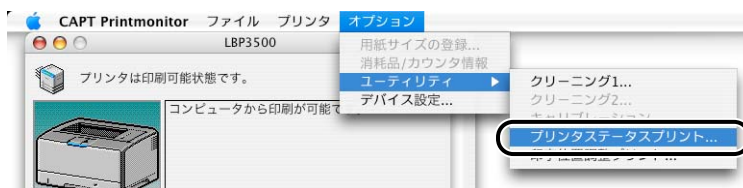
プリンタステータスプリントを印刷する（LBP5000、LBP3500、LBP3300、LBP3210 のみ）

プリンタステータスプリントには、プリンタのオプション設定や（LBP3210 以外）総プリントページ数などのプリンタの情報が記載されていますので、プリンタの状態を確認することができます。

メモ　プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。

1 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（➞P.4-15）を参照してください。

2 プリントモニタの [オプション] メニューから [ユーティリティ] → [プリンタステータスプリント] を選択します。

3 メッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

印字位置を調整する（LBP3500 のみ）

特定の給紙部からの印字位置がずれている場合に、プリントモニタから印字位置を調整することができます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

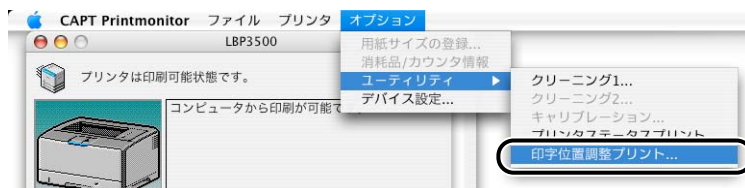
メモ　両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや［仕上げ］パネルの［とじ方向］の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

印字位置の確認

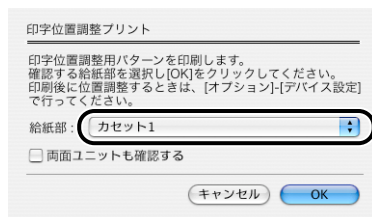
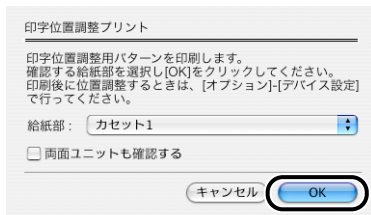
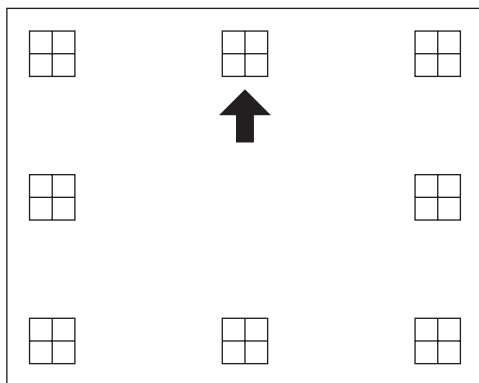
印字位置プリントを印刷し、調整する位置を確認します。

1 プリントモニタを起動します。

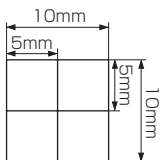
メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（→P.4-15）を参照してください。

2 プリントモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

［印字位置調整プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［給紙部］から印字位置を確認したい給紙部を選択します。

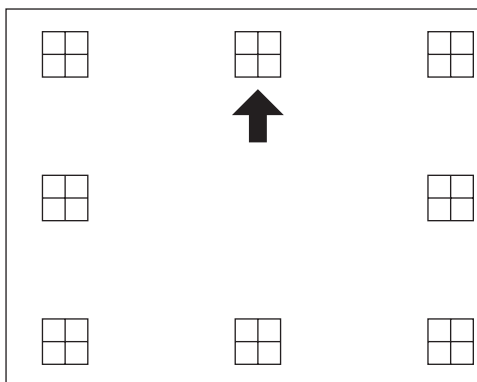
両面印刷時の印字位置を調整する場合は、［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けます。

4 [OK] をクリックします。

以下のような印字位置プリントが印刷されます。印字された矢印の先端が、印字位置プリントの上端になります。

次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（→P.4-27）で、調整する位置を設定します。

印字位置の調整

印刷された用紙に印字された"田"は以下の数値で形成されています。

※用紙の端からそれぞれ5mm

ここでは例として、［印字位置調整プリント］ダイアログの［給紙部］で［カセット 1］を選択し、以下の印字位置プリントが印刷された場合の設定を行います。

4 便利な印刷機能

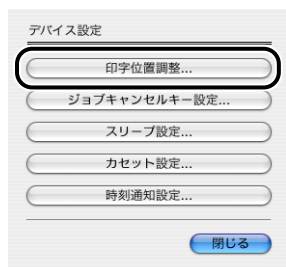
この場合、左方向に調整を行います。

メモ　印字位置が調整できる範囲は、-2.59 ～ +2.59mm で、横方向のみです。

1 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（➞P.4-15）を参照してください。

2 プリントモニタの［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択します。

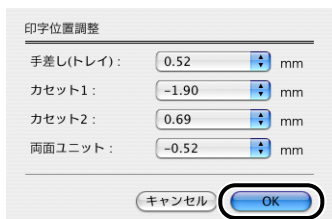
［デバイス設定］ダイアログが表示されます。

3 ［印字位置調整］をクリックします。

4 ［印字位置調整］で印字位置を調整します。

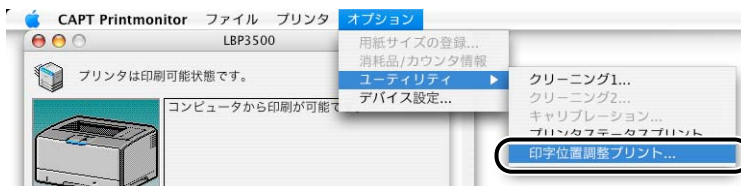
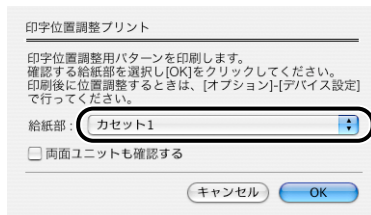
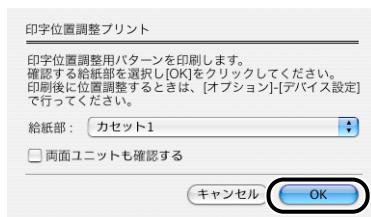
印字調整プリントの印刷結果を見て、調整する数値を設定します。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に移動します。

重要　初期設定値は、以下の数値に設定されています。リストから数値を選択して印字位置を調整します。

・手差しトレイ：0.52mm
・カセット 1、2：0.69mm
・両面ユニット：-0.52mm

5 ［OK］をクリックします。

6 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

［印字位置調整プリント］ダイアログが表示されます。

4
便利な印刷機能

7 印字位置を調整した給紙部を選択します。

8 [OK] をクリックします。

設定が変更された印字位置が印刷されます。印字結果を見て、印字位置の確認をします。さらに印字位置の調整を行う場合は、手順１～８を繰り返します。

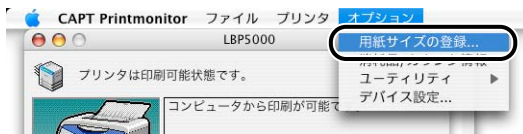
用紙サイズの登録（LBP5200、LBP5000、LBP3300のみ）

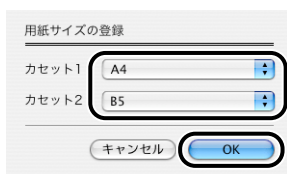
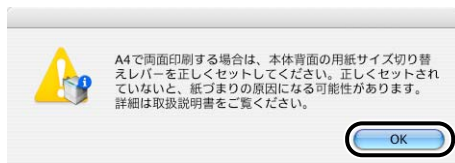
LBP5200、LBP5000、LBP3300の給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。以下の手順に従って、給紙カセットの用紙サイズの登録を行ってください。

メモ　印刷中は用紙サイズの登録はできませんので、印刷していないことを確認して登録してください。ただし、以下のメッセージが表示されている場合は、用紙サイズの登録はできます。
- ・一時停止中です
- ・用紙が指定と異なります
- ・用紙がありません

1 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（→P.4-15）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［用紙サイズの登録］を選択します。

［用紙サイズの登録］ダイアログが表示されます。

3 ［カセット 1］や［カセット 2］のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択し、［OK］をクリックします。

LBP3300 の場合、A4、レター、リーガルサイズを選択した場合、以下の画面が表示されます。
両面印刷する場合は、本体背面の用紙サイズ切り替えレバーを正しくセットしてから［OK］をクリックします。
両面印刷しない場合は、そのまま［OK］をクリックします。

メモ　用紙サイズ切り替えレバーのセット方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

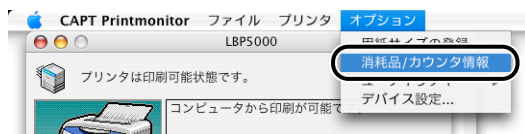
消耗品 / カウンタ情報の表示（LBP5200、LBP5000 のみ）

トナーカートリッジやドラムカートリッジ（LBP5200 のみ）の寿命の確認をすることができます。また、印刷ページ数を確認することもできます。

［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログには、各色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの寿命を示すアイコンとメッセージが表示されます。

1 プリントモニタを起動します。

メモ　プリントモニタの起動方法については、「プリントモニタを起動する」（➞P.4-15）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［消耗品 / カウンタ情報］を選択します。

［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログが表示されます。

アイコンの意味は以下のとおりです。

トナーカートリッジ（例：ブラックトナーカートリッジ）

アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	トナーカートリッジの寿命が近づいています。交換用のトナーカートリッジを用意してください。
	トナーカートリッジが寿命になりました。トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが装着されていません。

ドラムカートリッジ（LBP5200 のみ）

アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。交換用のドラムカートリッジを用意してください。
	ドラムカートリッジが寿命になりました。ドラムカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが装着されていません。

ユーザ定義用紙を設定する

アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズには、用意されている定形用紙以外に、独自に用紙を設定することができます。この用紙を、ユーザ定義用紙と呼びます。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.x の場合

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリント設定］）を選択します。

［ページ設定］ダイアログが表示されます。

2 ［ページ設定］ダイアログで、［カスタム用紙サイズ］パネルを選択します。

3 ［新規］をクリックします。

4 ユーザ定義用紙の名称、[用紙サイズ]、[プリンタの余白] を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[カスタム用紙リスト]	用紙の名前を入力します。
[用紙サイズ]	用紙の長さ（縦）と幅（横）を設定します。設定できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→P.3-11）を参照してください。
[プリンタの余白]	余白を設定します。余白は上下左右 0.5cm 以上に設定してください。

重要　LBP3500 の場合、[用紙サイズ] は、用紙の向きにかかわらず縦長（[長さ] ≧ [幅]）になるように入力してください。

メモ
- 一度登録した用紙を削除するときは、まず [カスタム用紙リスト] で削除する用紙を選択し、[削除] をクリックしてください。
- [用紙サイズ]、[プリンタの余白] の入力単位（cm/in）は、以下で設定できます。
  - ･Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[システム環境設定] → [言語環境] → [数] の順にクリックし、[計測単位] で [ヤード・ポンド法]、[メートル法] のどちらかを選択します。
  - ･Mac OS X 10.3.x をお使いの場合は、[システム環境設定] → [言語環境] → [書式] の順にクリックし、[計量単位] で [U.S.]、[メートル法] のどちらかを選択します。
- [用紙サイズ]、[プリンタの余白] に表示されるデフォルトの数値は、以下で設定できます。
  - ･Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[プリントセンター] → [環境設定] → [デフォルトの用紙サイズ] で選択した用紙のサイズが表示されます。
  - ･Mac OS X 10.3.x をお使いの場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] → [環境設定] → [" ページ設定 " のデフォルトの用紙サイズ] で選択した用紙のサイズが表示されます。

5 [保存] をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

6 さらに別の用紙設定を行う場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x の場合

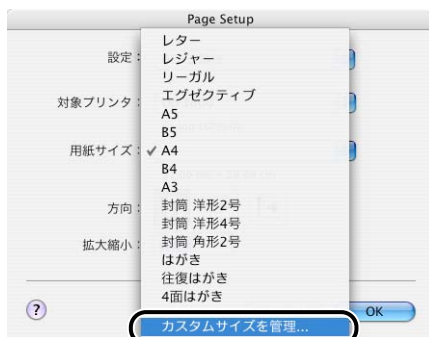
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログの設定を行います。

2 **［ページ設定］（[Page Setup]）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理］を選択します。**

［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログが表示されます。

4
便利な印刷機能

4 [+] をクリックします。

5 ユーザ定義用紙の名称、[ページサイズ]、[プリンタの余白] を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[カスタムページリスト]	用紙の名前を入力します。
[ページサイズ]	用紙の長さ（縦）と幅（横）を設定します。設定できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。
[プリンタの余白]	余白を設定します。余白は上下左右 0.5cm 以上に設定してください。 [プリンタの余白] ポップアップリストからプリンタを選択すると、選択したプリンタに適した余白が設定されます。プリンタリストに登録されているプリンタのみ選択可能です。

重要

LBP3500 の場合、[ページサイズ] は、用紙の向きにかかわらず縦長（[長さ] ≧ [幅]）になるように入力してください。

メモ

- 一度登録した用紙を削除するときは、まず [カスタムページリスト] で削除する用紙を選択し、[-] をクリックしてください。
- [ページサイズ] 、[プリンタの余白] の入力単位（cm/in）は、[システム環境設定] ➞ [言語環境] ➞ [書式] の順にクリックし、[計量単位]（[測定単位]）で [U.S.]（[US]）、[メートル法] のどちらかを選択できます。
- [ページサイズ]、[プリンタの余白] に表示されるデフォルトの数値は、[システム環境設定] ➞ [プリントとファクス] ➞ [" ページ設定 " のデフォルトの用紙サイズ] で選択した用紙のサイズが表示されます。

6 さらに別の用紙設定を行う場合は、手順４ ～ ５を繰り返します。

7 ［OK］をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

印刷品質の設定

印刷品質の設定手順について説明しています。

印刷品質を設定する

写真を含む原稿などは、階調や品質を設定することによって、よりきれいに印刷できます。

モノクロプリンタの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］を選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[中間調]	中間調の表現方法を設定できます。 LBP3500、LBP3300 の場合： [パターン 1]：　写真を印刷する場合にメリハリをつけて印刷できます。人物や明暗を強調したい画像を印刷する場合に適しています。 [パターン 2]：　一般的な文章を印刷する場合に選択します。 [パターン 3]：　色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。 [なし（黒ベタ）]：白以外の色をすべて黒で印刷します。 LBP3210、LBP3000 の場合： [パターン 1]：　一般的な文書を印刷する場合に適しています。滑らかな階調で印刷し、比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。 [パターン 2]：　色付きの文字や線を印刷する場合に適しています。比較的濃い目に印刷するため、細い線がはっきりと印刷されます。ただし、図形・表・グラフなどのグラフィックスデータや写真画像などのイメージデータは、[パターン 1] に設定した印刷結果よりも濃くなったり、印字むらが発生する場合があります。 [なし（黒ベタ）]：白以外の色をすべて黒で印刷します。
[トナー濃度]	トナーの濃度を 5 段階で調節します。[トナー濃度] のつまみを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。
[トナー節約モードを使う] ／ [ドラフトモード]	本モードを使用するとデータを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。
[スーパースムーズを使う]（LBP3500、LBP3300 以外）	文字や図形などのギザギザを、よりなめらかにする処理を行います。 LBP3500、LBP3300 は、[処理オプション] ダイアログ（[仕上げ] パネルで [仕上げ詳細] をクリックし、[処理オプション] をクリックして表示）でスーパースムーズの設定を行います。
[グラデーションをきれいに印刷する]	Microsoft PowerPoint でカラーのグラデーションデータをモノクロで印刷した場合、グラデーションの階調がなめらかに印刷されないことがあります。このような場合にこの項目にチェックマークを付けて印刷すると、グラデーションの階調がなめらかに印刷されます。ただし、印刷の処理に時間がかかる場合がありますので、通常はチェックマークを消しておくことをおすすめします。

5 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックします。

カラープリンタの場合

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[階調]	中間調のデータを印刷するときの階調を設定します。 ［高階調 1］：　多値処理による品質の高い印刷を行います。 ［高階調 2］：　［高階調 1］よりさらに品質の高い印刷を行います。 ［標準］：　二値処理による標準的な品質の印刷を行います。印刷のスピードを速くする場合に選択します。（LBP5200 のみ選択可能）
[カラー中間調]（LBP5000 のみ）	カラー印刷するときの中間調の表現方法を設定できます。 ［解像度］：　一般的な文字や写真、イメージなどを美しく印刷します。ほとんどのデータは、この項目を選択すると美しく印刷できます。 ［階調］：　グラフィックや CG でグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。 ［色調］：　原稿を複数枚印刷する場合に色味の違いが目立たなくなります。写真、イメージなどの原稿に適しています。

［モノクロ中間調］（LBP5000 のみ）	モノクロ印刷するときの中間調の表現方法を設定できます。 ［解像度］：　一般的な文字や写真、イメージなどを美しく印刷します。ほとんどのデータは、この項目を選択すると美しく印刷できます。 ［階調］：　グラフィックや CG でグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。 ［色調］：　原稿を複数枚印刷する場合に色味の違いが目立たなくなります。写真、イメージなどの原稿に適しています。 ［なし（黒ベタ）］：　白以外の色をすべて黒で印刷します。
［中間調］（LBP5200 のみ）	中間調の表現方法を設定できます。 ［解像度］：　一般的な文字や写真、イメージなどを美しく印刷します。ほとんどのデータは、この項目を選択すると美しく印刷できます。 ［階調］：　グラフィックや CG でグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。 ［色調］：　原稿を複数枚印刷する場合に色味の違いが目立たなくなります。写真、イメージなどの原稿に適しています。
［トナー濃度］	トナーの濃度を調節します。［トナー濃度］のつまみを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。LBP5000 の場合、トナーの色ごと（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）に設定可能です。
［トナー節約モードを使う］／［ドラフトモード］	本モードを使用すると、データを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。
［グレー補償］	グレー補償を行うかどうかを設定します。グレー補償を行うと、黒色と灰色のデータが確実に黒色や灰色で印刷されます。
［グラデーションをきれいに印刷する］（LBP5200 のみ）	Microsoft PowerPoint でカラーのグラデーションデータをモノクロで印刷した場合、グラデーションの階調がなめらかに印刷されないことがあります。このような場合にこの項目にチェックマークを付けて印刷すると、グラデーションの階調がなめらかに印刷されます。ただし、印刷の処理に時間がかかる場合がありますので、通常はチェックマークを消しておくことをおすすめします。 ［印刷品質］パネルの［カラーモード］が［モノクロ］に設定されている場合にのみ設定することができます。

5 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックします。

色の設定をする

［印刷品質］パネルの［色設定］をクリックすると、［色設定］ダイアログが表示され、［色調整］シートや［マッチング］シートで、カラー／グレーの詳細な設定や補正を行うことができます。

モノクロプリンタの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［色設定］をクリックします。**

［色設定］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[明るさ]	印刷するときの明るさを調整します。[明るさ] のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
[コントラスト]	印刷するときのコントラストを調整します。[コントラスト] のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

メモ　コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

5 LBP3500、LBP3300 の場合、[マッチング] シートを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[マッチングモード]	色補正の処理方法を設定します。 ・[ドライバ補正モード]: プリンタドライバ(コンピュータ)側で色の処理を行います。 ・[ガンマ補正]: 色の設定を行わずに印刷します。[ガンマ補正]を設定する場合は、本項目を設定してください。
[マッチング方法]	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。
[モニタ・スキャナの設定]	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択します。
[ガンマ補正]	[マッチングモード]を[ガンマ補正]に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。

メモ

ガンマ補正を設定すると、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節できます。出力した結果が元の画像に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどにお使いください。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。[ガンマ補正]を[1.0]に設定した場合、印刷結果は画面表示よりも明るくなります。これは、多くのモニタの本来のガンマ値が、1.4 〜 1.8 ぐらいであるためです。

6 **[色設定]ダイアログの[OK]をクリックします。**

7 **[プリント]をクリックします。**

カラープリンタの場合

カラーモードを設定する

1 **アプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。**

[プリント]ダイアログが表示されます。

2 **[プリント]ダイアログで、[印刷品質]パネルを選択します。**

[印刷品質]パネルが表示されます。

3 ［カラーモード］で印刷するカラーモードを選択します。

設定内容は、以下の通りです。

［モノクロ］	カラーの原稿でも黒のみで印刷します。
［フルカラー］	CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の４色で印刷します。
［カラー / モノクロ自動切替］	原稿の種類によって、カラー印刷とモノクロ印刷を自動的に切り替えます。

メモ

- ［カラー / モノクロ自動切替］を選択した場合、アプリケーションの出力によっては一部のモノクロページがフルカラーモードで印刷されることがあります。
- ［カラー/ モノクロ自動切替］を選択した場合、［フルカラー］、［モノクロ］で印刷したときよりも印刷が遅くなることがあります。

4 ［プリント］をクリックします。

カラー / モノクロの詳細な設定をする

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

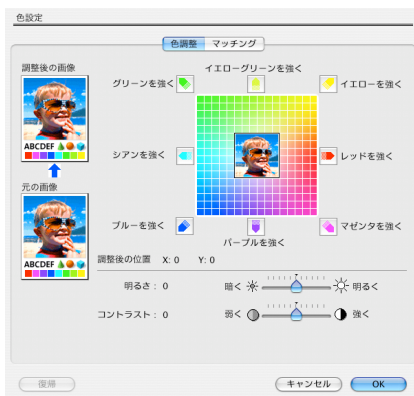
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［色設定］をクリックします。

［色設定］ダイアログが表示されます。

4 ［色調整］シートを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[調整領域]	調整領域の中央にある［プレビューボタン］を上下左右に移動させて色の調整を行います。［プレビューボタン］が中央にあるときは、画像は調整されていません。調整のしかたは以下の3種類あります。 ・ 調整領域の周囲にある各色のボタンをクリックすると、クリックした色を1段階ずつ強くすることができます。 ・ 調整領域内の希望する色をクリックすると、クリックした場所に［プレビューボタン］が移動します。 ・ 中央にある［プレビューボタン］を希望する色の上にドラッグします。
[明るさ]	印刷するときの明るさを調整します。[明るさ]のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
[コントラスト]	印刷するときのコントラストを調整します。［コントラスト］のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

メモ　コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

5 ［マッチング］シートを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[マッチングモード]	色補正の処理方法を設定します。 ・[ドライバ補正モード]: プリンタドライバ(コンピュータ)側で色の処理を行います。 ・[ガンマ補正]: 色の設定を行わずに印刷します。[ガンマ補正]を設定する場合は、本項目を設定してください。
[マッチング方法]	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。
[モニタ・スキャナの設定]	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択します。
[ガンマ補正]	[マッチングモード]を[ガンマ補正]に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。

メモ

ガンマ補正を設定すると、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節できます。出力した結果が元の画像に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどにお使いください。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。[ガンマ補正]を[1.0]に設定した場合、印刷結果は画面表示よりも明るくなります。これは、多くのモニタの本来のガンマ値が、1.4 〜 1.8 ぐらいであるためです。

6 **[色設定]ダイアログの[OK]をクリックします。**

7 **[プリント]をクリックします。**

きれいにカラー印刷する(LBP5200、LBP5000 のみ)

次の手順でカラーの原稿を印刷するときれいに印刷することができます。

写真のデータをきれいに印刷する

写真の原稿を印刷する場合は、以下の設定を行って印刷します。設定を［プリセット］に登録しておくと便利です。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［カラーモード］で、［フルカラー］を選択します。**

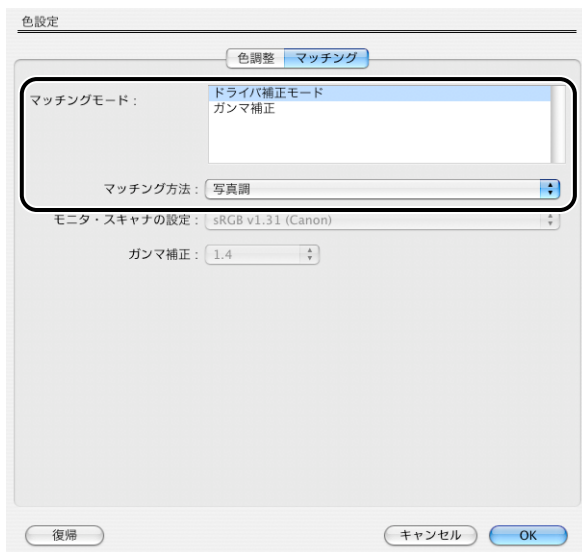
4 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

5 ［階調］で［高階調 2］、［カラー中間調］／［中間調］で［色調］、［グレー補償］で［使わない］を選択し、［OK］をクリックします。

6 ［色設定］をクリックします。

［色設定］ダイアログが表示されます。

7 ［マッチング］シートを表示し、以下のとおりに設定します。

[マッチングモード]	[ドライバ補正モード]
[マッチング方法]	[写真調]

8 ［色設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

色つきの線や文字のデータをきれいに印刷する

色つきの線や文字が含まれている原稿を印刷する場合は、以下の設定を行って印刷します。設定を［プリセット］に登録しておくと便利です。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［カラーモード］で、［フルカラー］を選択します。**

4 **［品質設定］をクリックします。**

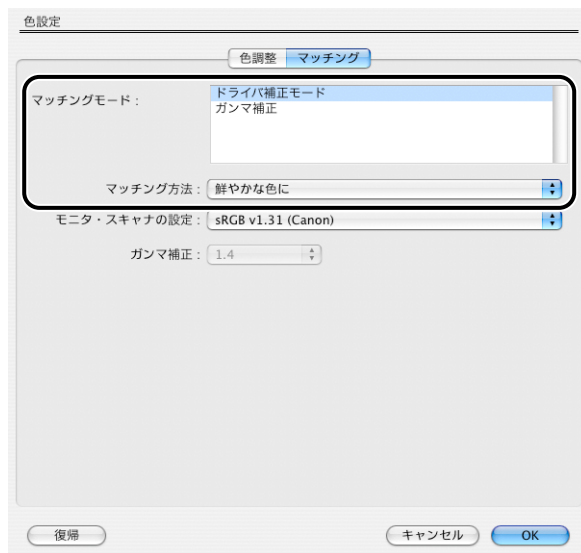
［品質設定］ダイアログが表示されます。

5
印刷品質の設定

5 ［階調］で［高階調 2］、［カラー中間調］／［中間調］で［解像度］、［グレー補償］で［すべて］を選択し、［OK］をクリックします。

6 ［色設定］をクリックします。

［色設定］ダイアログが表示されます。

7 ［マッチング］シートを表示し、以下のとおりに設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[マッチングモード]	[ドライバ補正モード]
[マッチング方法]	[鮮やかな色に]

8 [色設定] ダイアログの [OK] をクリックします。

9 [プリント] をクリックします。

困ったときには

CAPT プリンタドライバの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

困ったときには

プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処法について説明します。

印刷できない

原因 1　プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置　プリンタとMacintoshがUSBケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 2　プリンタの電源がオンになっていない。

処　置　プリンタの電源をオンにしてください。

［プリントセンター］／［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントとファクス］にプリンタ名が表示されない

原因 1　プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置　プリンタとMacintoshがUSBケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 2　プリンタの電源がオンになっていない。

処　置　プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3　プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置　プリンタドライバを再度インストールしてください。インストール方法については「お読みください」を参照してください。

印刷すると、「手差し給紙口に用紙がセットされています」というメッセージが表示され、手差し給紙口から印刷できない（LBP5000、LBP3300 のみ）

原　因　［給紙］パネルの［給紙部］を［自動］に設定していると、以下の用紙タイプは給紙カセットを優先するため、手差し給紙口から印刷できない。

- LBP5000：全ての用紙タイプ
- LBP3300：［普通紙］、［普通紙 L］、［厚紙 1］

処　置　メッセージが表示されている画面で［ジョブを削除］をクリックしてから、［給紙］パネルの［給紙部］を［手差し給紙口］に設定して印刷しなおしてください。

メモ　メッセージが表示されている画面で［すべてのジョブを停止］、［ジョブを停止］をクリックしても、手差し給紙口からは印刷できません。手差し給紙口から印刷する場合は、一度ジョブを削除してから［給紙］パネルの［給紙部］を［手差し給紙口］に設定して印刷しなおしてください。

いつまでたっても出力されない

原　因　カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、印刷に時間がかかっている。

処　置　印刷可ランプがついているときは、しばらくお待ちください。（LBP5200、LBP5000、LBP3500、LBP3300のみ）

データの種類によって印刷できない

原　因　複雑なデータを印刷した場合、コンピュータ上での処理に時間がかかり、プリンタ側でタイムアウトが発生した。

処　置　［特別処理］パネルの［データの送信方法］を［全ページデータを一括してプリンタに送る］に設定してプリントしなおしてください。

印刷結果の端が欠けてしまう

原因1　アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと、プリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。

処　置　［ページ属性］パネルの［拡大縮小］で、縮小方向に倍率を設定してください。

原因2　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が本プリンタの有効印字領域外に設定されているデータをプリントした。

処　置　プリンタの有効印字領域は用紙周囲から上下左右5mm（封筒は10mm）を除いた領域です。データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってください。

重要　LBP3000の有効印字領域は用紙周囲から上4mm、下6mm、左5mm、右5mm（はがきは上下左右5mm、封筒は上10mm、下10mm、左10mm、右7.3mm）を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、データの周囲が欠けて印刷されることがあります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

メモ　LBP3500、LBP3300で封筒をお使いの場合、右の余白は7.6mmとなります。
LBP3210で封筒をお使いの場合、上下左右の余白は、5mmとなります。

グラデーションがきれいに印刷されない

原　因　Microsoft PowerPointでカラーのグラデーションデータをモノクロで印刷している。

処　置　［印刷品質］パネルの［品質設定］をクリックして、［品質設定］ダイアログを表示し、［グラデーションをきれいに印刷する］にチェックマークを付けて印刷しなおしてください。

付録

参考となる情報について説明しています。

索引

英数字

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら

わ

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

R-IJ-1279AF